島田三郎・安部磯雄 監輯

廓清

第三巻 第六號

主張 社會之改良・風紀之廓清・男女之貞潔・家庭之和樂

目次

▲實績上より公娼制度を排す……マスターオブアーツ 油谷治郎七
▲廓清時言……球川
▲事業上の戰と公娼……森村市左衛門
▲沙市に於ける廓清軍の勝利……北米日本人會矯風部長 井上織夫
▲排日思想の裏面……ライオン歯磨本舗顧問 井上胤文
▲國民的弱點の曝露……基督教世界主筆 加藤直士
▲遊惰放逸の風……大阪朝日新聞
▲公娼問題の解決……國民通俗教育會幹事 太田英隆
▲不貞潔の行ひが生む悲劇……廓清會評議員 角谷和市
▲千圓娼妓の自由廢業……記者
▲廓清會總會……記者
▲名古屋運動記……益富生
▲家計簿の話……早稲田大學教授法學博士 鹽澤昌貞
▲嬰兒の育て方……婦人記者
▲社會の研究……記者

東京 廓清會本部 發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori. Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

▲入院は診斷後隨時需に應ず

松田、林、峰間三副長は目下當院に在勤

電本 八八八番(病院用) 八九八番(自宅用)

東洋內科醫院

東京市神田區駿河臺鈴木町二番地、御茶水橋附近

院長 醫學士 高田畊安

神奈川縣高座郡茅ケ崎町柏海濱、停車場より半里

電チガサキ二番

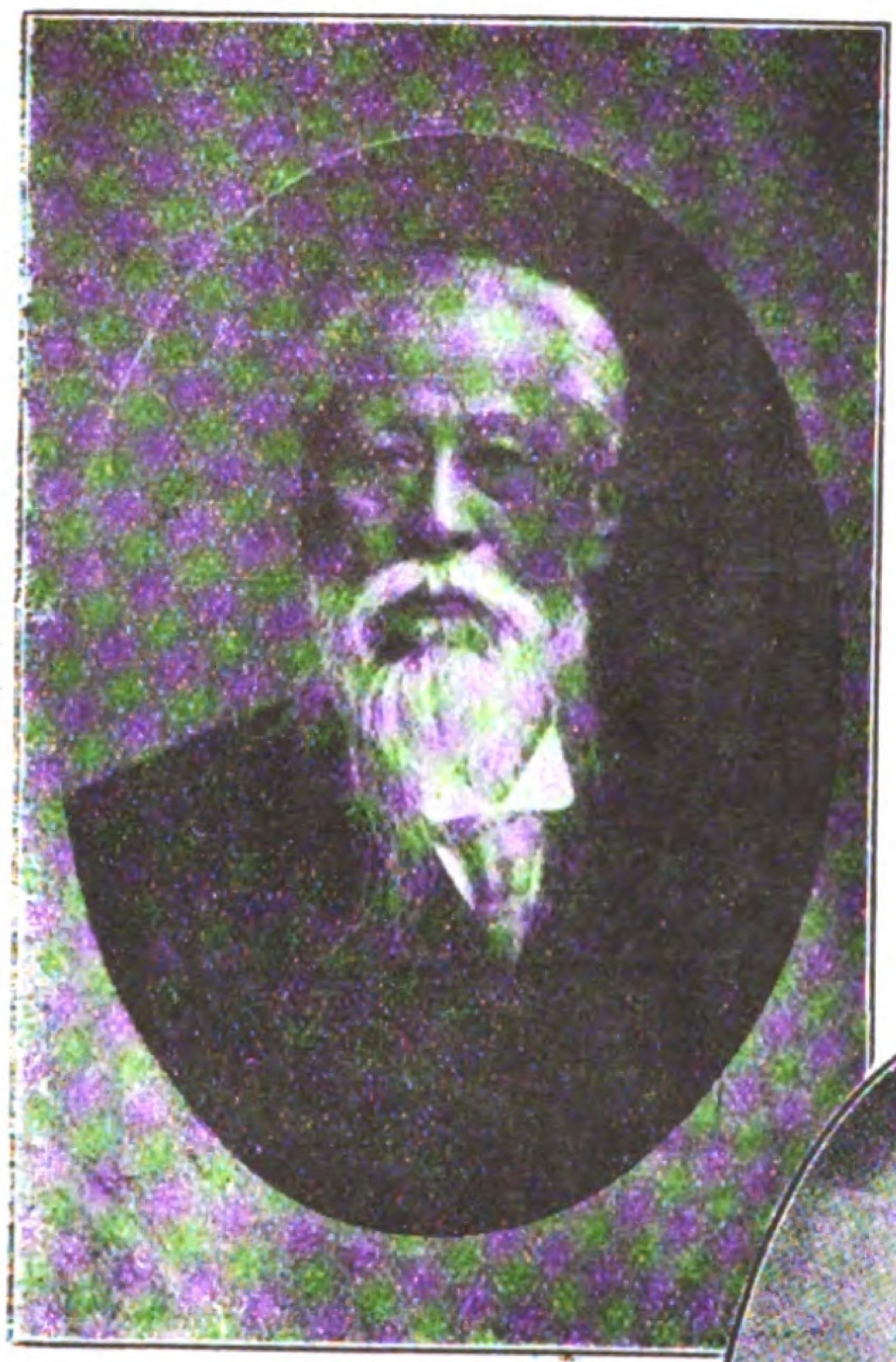
南湖院

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

▲院長渡歐中の處先般歸朝す

廓清會本部役員(一)

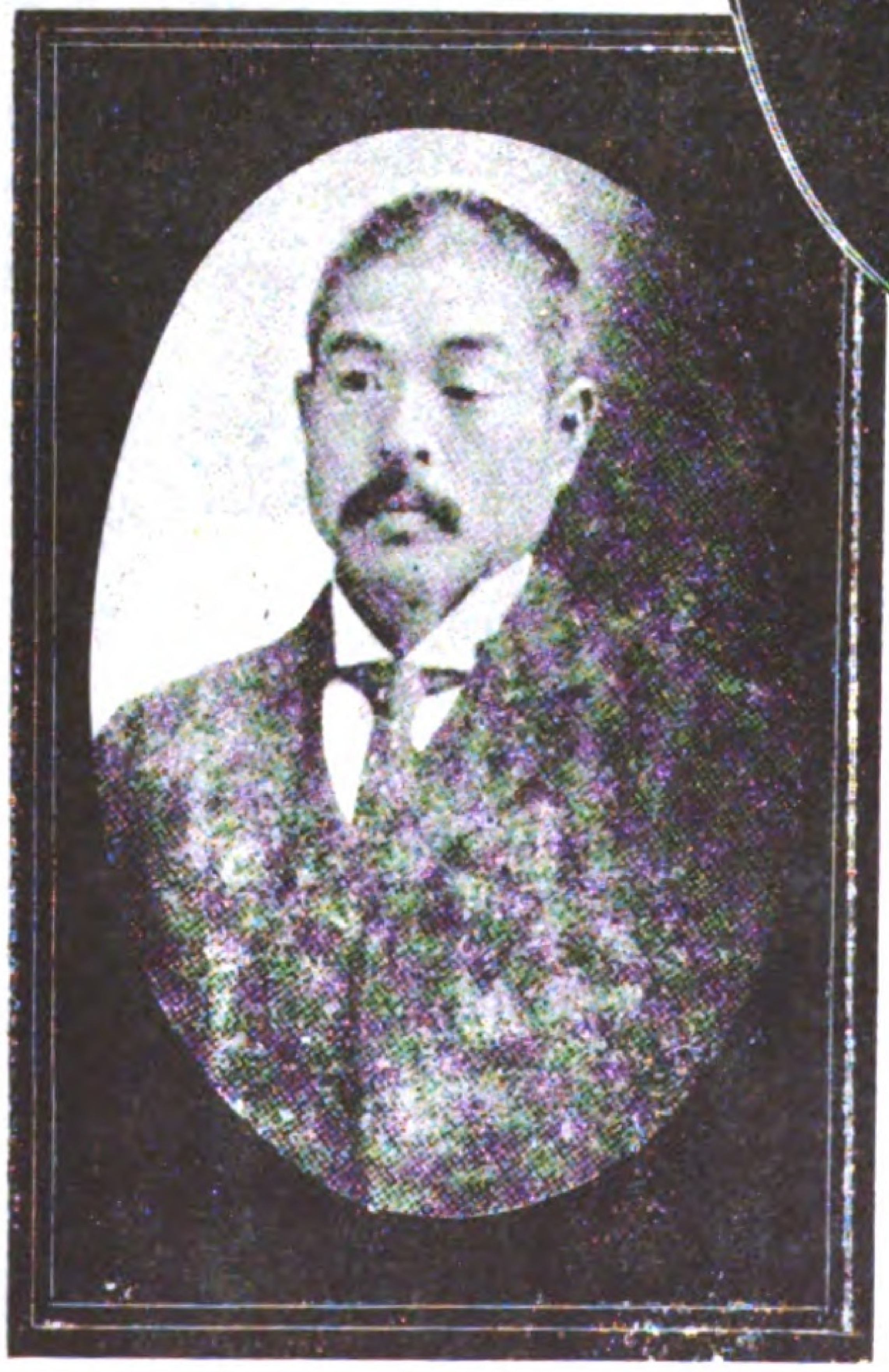
顧問 伯爵大隈重信氏



顧問 森村市左衛門氏

會長 島田三郎氏

副會長 矢島揖子



副會長 安部磯雄氏

廓清會本部役員（二）

理事 伊藤富士雄氏

理事 西村勘之助氏

會計 山本邦之助氏

理事 松宮彌平氏

理事 小松武治氏

理事 寺田四郎氏

理事 內ヶ崎作三郎氏

理事 山田彌十郎氏

理事 益富政助氏

理事 油谷治郎七氏

理事 宮田脩氏

（いろは順）

EAST ASIAN LIBRARY

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

新任 廓清會本部役員

顧問 伯爵 大隈重信
同 森村市左衛門
會長 衆議院議員 島田三郎
副會長 基督教婦人矯風會頭 矢島楫子
同 早稲田大學教授 安部磯雄
會計 東京基督教青年會主事 山本邦之助
理事 救世軍大尉 伊藤富士雄
同 辯護士 西村勘之助
同 早稲田大學教授文學士 内ケ崎作三郎
同 救世軍大校 山田彌十郎
同 松宮彌平
同 鐵道青年會理事 益富政助
同 基督教同盟幹事文學士 小松武治
同 辯護士法學士 寺田四郎
同 マスターオブアーツ 油谷治郎七
同 成女高等女學校長 宮田脩
評議員 國民黨幹事 服部綾雄
同 博愛社理事 林歌子
同 京都同志社長 原田助

評議員 辯護士 德江亥之助
同 共勵會長 長田時行
同 ドクトル 緒方銈次郎
同 法學博士 小河滋次郎
同 大倉商店主 大倉文次
同 樞密院顧問法文學博士 加藤弘之
同 基督教世界主筆 加藤直士
同 共同銀行頭取 高崎介藏
同 萬年社長 高木貞衛
同 衆議院議員 根本正
同 川口教會牧師 名出保太郎
同 文學士 中津親義
同 衆議院議員法學博士 鵜澤總明
同 早大教授法學博士 浮田和民
同 日本基督教傳道理事長 植村正久
同 鎭西學院長 鵜崎庚午郎
同 京都青年會主事文學士 栗原基
同 救世軍書記長官 山室軍平
同 京都大學教授醫學博士 松浦有志太郎
同 道會會長 松村介石

評議員 衆議院議員 增田義一
同 京都教會牧師 牧野虎次
同 婦女新聞主筆 福島四郎
同 ライオン齒磨本舗 小林富次郎
同 牧師夫人 小崎千代子
同 貴族院議員 江原素六
同 大日本禁酒會長 安藤太郎
同 衆議員議員 齋藤宇一郎
同 前衆議院議員 齋藤壽雄
同 大阪青年會主事理學士 佐島啓助
同 前群馬縣會長 湯淺治郎
同 大阪市會議員 湯淺豐太郎
同 大阪教會牧師 宮川經輝
同 三輪田高女教頭文學士 三輪田元道
同 第一高等學校教授 三並良
同 衆議院議員 日向輝武
同 日本メソヂスト教會監督 平岩愃保
同 早稲田大學教授文學士 平沼淑郎
同 立教大學長 元田作之進
同 愛光社主 角倉賀道
同 角谷工場主 角谷和市

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清會會則

第一條 本會ハ廓清會ト稱ス

第二條 本會ハ本部ヲ東京市神田區美土代町三丁目三番地東京基督教青年會館内ニ設キ、追テ支部ヲ各地ニ置ク

第三條 本會ノ目的ハ公娼制度ヲ廢止シ推シテ男女間ニ貞潔ノ徳操ヲ進ムルニアリ

第四條 本會ハ其目的ヲ達センガ爲ニ左ノ事業ヲ爲ス

(一)毎月一回「廓清」ト題スル雜誌ヲ發行スルコト
(二)時々適當ノ出版ヲナスコト
(三)公開演説會ヲ開催スルコト
(四)帝國議會ニ公娼廢止ノ請願ヲナスコト
(五)當局官廳ニ公娼廢止ノ建白ヲナスコト
(六)公娼廢止ノ善後策ヲ攻究スルコト
(七)娼妓其他醜業婦ノ救濟

第五條 本會ニ調査部ヲ設ケ左ノ事項ヲ調査研究ス

(一)公娼ニ對スル現代思想ノ研究
(二)遊廓其他花柳界ノ調査
(イ)婦女誘拐及ビ誘拐者
(ロ)醜業婦口入業者
(ハ)貸座敷業者及ビ其雇人
(ニ)娼妓ノ出身現狀及ビ成行
(三)公娼制度ト法規トノ關係調査
(四)公娼制度ト衛生トノ關係調査
(五)公娼制度ト風紀トノ關係調査
(六)公娼制度ト教育トノ關係調査
(七)公娼制度ト經濟トノ關係調査
(八)公娼制度ト公權トノ關係調査
(九)外國人タル醜業婦ノ狀態調査
(十)外國ニ於ケル日本醜業婦ノ調査
(十一)内外醜業婦ノ沿革調査
(十二)藝妓酌婦其他類似ノ稼業者ニ關スル調査
(十三)畜妾、私通、姦通、離婚等ニ關スル調査
(十四)婦人問題、貞操問題ニ對スル現代思想ノ研究

第六條 本會ハ本會ノ趣旨ヲ贊成スル男女ヲ以テ組織ス

第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

役員ハ總會ニ於テ之ヲ選擧シ其任期ハ一ケ年トス

會長 壹名
副會長 貳名
理事 拾名
會計 壹名
書記 若干名

第八條 會長ハ會務ヲ統理シ、副會長ハ會長ヲ輔佐シ且ツ必要ノ場合ハ之ガ代理ヲナス

理事ハ本會ノ實務ヲ執リ、會計ハ本會ノ會計ヲ掌ル、書記ハ會長之ヲ依囑シ本會ノ記錄及雜誌編輯ノ事務ヲ擔任ス

第九條 本會ニ調査委員若干名ヲ置キ第五條ノ調査ヲナス、委員ハ會長之ヲ推薦ス

第十條 本會ニ評議員若干名ヲ置ク

評議員ハ總會ニ於テ之ヲ推薦シ、本會ニ對シテ必要ナル助力ヲ與フ

第十一條 本會ニ顧問ヲ置ク

顧問ハ總會ニ於テ之ヲ推薦ス

第十二條 本會ニ入會セント欲スル者ハ原籍、現住所、職業氏名、年齢及、會員ノ種類ヲ記シ本部ニ申込ムベシ

第十三條 會員ヲ分ッテ贊助會員、正會員ノ二トス

贊助會員トハ本會ノ維持費トシテ毎月一口(廿五錢)以上ヲ出資スルモノニシテ、正會員トハ毎月金五錢ノ會費ヲ納ムルモノトス

第十四條 會員ニハ機關雜誌「廓清」ヲ毎號無代配布ス

第十五條 總會ハ毎年五月之ヲ開キ事務報告其他會務ヲ議ス但シ必要ノ場合ハ臨時總會ヲ開ク事アルベシ

廣く全國に同志の士を募る

公娼制度の廢止は我國數百年來の惡風陋俗を廓清するの大事業なれば、天下志士仁人の奮勵努力を要するや大也。願くは覺醒せる國民諸君男女を問はず老少を論せず、速かに來りて本會に入會せられよ。蓋し之れ國家社會のため也。同胞のため也。人道のため也。

東京市神田區美土代町三丁目三番地

廓清會本部

二

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

實績上より公娼制度を排す

マスターオブアーツ　油谷治郎七

△公娼の弊遂に國際問題に及ぶ

私は十數年歐米に居つて數週前日本に歸つた許りであるが、日本の婦人方が今夕の如き集會に出席する者の尠きに先づ一驚を喫した。元來廢娼運動——廓清會の演説會の如きは男子の會なるのみならず、婦人の先んじて行ふ可き婦人解放運動である。此の婦人の少い席上に於て婦人問題を論難するのは、恰もお留守の中で話をするやうな遺憾があるけれども此問題は云ふ迄もなく男子も其一半の關係を有する事であるから、我の男同志も亦寄つて研究する必要はあるのである。

これまで支那、印度、新嘉坡邊迄も日本の女が足を踏み出してゐるといふ事は誰しも知つてゐる事實であつた。それが進んで印度洋を越え、ポートセードより、今日は既に地中海を横り、白耳義のアントワープにも十數名陣取り、歐羅巴の胴中迄も日本の女は淺ましい店を張つてゐるのである。更に眼を轉じて西比利亞の方を見ると、玆も浦鹽斯徳から把拉賓の方迄行つてゐるといふ話は、遠い過去の驚きとなつて、今日はハイラル、イルクーツク即バイカル湖畔にも數軒日本の女郎屋がある、更に驚く可きはチエルヤベンツクといふ様な露西亞の内地の都にも居るといふ事を或確な筋から聞いた。即ち一方は印度洋を經て、一方は西比利亞を通つて、斯くして日本の女郎軍は二方より歐羅巴征伐に出かけてゐる。

翻つて亞米利加大陸の方は如何と云ふに、シヤトル、桑港晩香坡等太平洋岸の都には到る處日本の醜業婦が居る、ロッキー山を越てシカゴにも十數軒ある。米國の中央を横斷して太西洋岸の大都紐育に出づれば、玆には幸に彼等の隻影だも見出す事が出來ない。此地に無いといふ理由に就ては、日本國民は多少私共に對して感謝しなければならぬであらうと思ふ。といふのは同地にも女郎屋を開く計畫が桑港の者二三名によつて起された事があるのである、彼等は既に家迄借りる約束して、もう手續を出したといふ事が、當時紐育にあつた私達の耳に這入つて、之は聞捨ならぬ事件である、さなきだに日本人の不貞潔の評判は排日思想を助成しつゝある時、[illegible][illegible]すべき醜業を公にまれ私にまれ行らしては大變である、唯に數名の徒の恥のみに非ずして日本帝國の國辱であるといふ處から、蹶然蹶起して同志と共に大に廓清運動を試み、カーネギーホールに於て大演説會を開き、或は日本人の發行する新聞によつて彼等を攻擊する等輿論の上より壓迫を加へ、遂に彼等をして手を出すことを得ざらしめた事があつて、未然に防ぎ止めた以來シカゴ以東には醜業婦の影を見ないのであるが、斯くの如くにして日本は淫賣國である、外國への輸出品はなく一億萬圓の輸入超過の國であり乍ら、獨り淫賣のみ

は世界に冠絶する大なる輸出國であると嘲らるゝに至つた。是れ眞に心あるものゝ堪ゆ可からざる汚辱ではあるまいか、斯かる凌辱を蒙る根本は全く内地の公娼制度にある。日本にては金に困つたら娘を賣るといふ様な考が自然と國民の腦裡に浸みて居る、男子の側に於ても情慾を抑制しようとする考はなく、衝動に從つて戯れ遊んで憚らないといふ様な有様が不知不識の間に馴致せられてゐる、醜業制度は恬然として怪まず、内地の到るところに許すがために自然海外にも盛に流出するのである。是れ寔に國内に於ける風敎問題たるに止まらず、國際問題として吾人の考慮を要する大問題である。

△賣淫取締の方法如何

然らば此娼妓制度を如何にすべきかといふ問題に當然逢着する。德川三百年の間は政略上から之を是認して誰も怪しまなかつた。武士は劍こそ帶びないで花柳の巷に這入つたが、彼等は毫も恥とせざるのみならず社會も何等咎むる處はなかつた。御一新の時に至り志士の平野國臣が廢娼論を唱へた事がある、彼は同時に僧侶を憎む事甚しく、娼妓と坊主とを結婚させて蝦夷にでも流して了へといふ様な事を叫んだ。併し此卓拔な議論は唯矯激な說として一笑に附し去られ一人の耳を傾くる者もなかつた。其後有名なる森有禮氏が明六雜誌を出すや、盛んに廢娼論を唱道し、是れ男子が女子を侮辱するものであると論じたことがある。明治十三四年頃に至りて自由民權論が起り、自由論者は娼妓制度は人間の權利を蹂躪するものであると、權利の問題から人身賣買の不埒を攻擊し一時大分喧しかつたけれども、依然として何の反響も見ずに此幕も閉ぢられた。其後今晩此席に御出になる矢島楫子夫人其他の人々が廢娼同盟會を結んで大に廢娼論を呼號し、遂に自由廢業といふ拔道が出來た。併しまだ〳〵國民の輿論が進んでゐなかつたから、制度の上から廢して了ふといふ様な議論は、やはり何の權威も認められなかつた。

それなら何故に之を是認し來つたか、といふ根本の硏究に行くとそれには經濟上の理由もあり、又道德上いけないと思ひ乍ら衞生上から餘儀ないと認むる人もあり、或は社會制度の上から拔道がないと良家の子女を危險に陷れるといふ社會政策の誤つた見解に基いてをる。けれども如上の議論はどれも根本を云へば此の制度の及ぼす弊害を充分知らぬからである。私は今茲に三つの方面から論究して見たいと思ふ。

第一は如何にして不正なる不適當なる男女關係を矯正すべきか、即娼妓制度の取締を如何にすべきか、第二は其娼妓を如何にして救ふべきか、第三は斯かる者を發生せしむる原因を如何にして豫防すべきか、の三問題につき論せなければならぬ。

第一、先づ此取締法を如何にして改良するか。風俗警吏の撰擇を嚴にして取締を嚴重にせよと云ふものもある。檢梅法を改めて女子のみならず、遊客たる男子を先づ嚴重に檢査して後遊ばしむるやうにせよと云ふ獨逸の學者もある。吾輩はメーゾン、トウレレ(娼家制)を全廢せよと主張するのである。娼妓を公認する制度には、セヴリゲーション、システム即ち一つ處に娼家を集めて之を取締り檢梅及び其他官の監督の下におく、集娼制度がある、日本の都市、米國華盛頓市、ボルチモア、獨逸のブレメン、漢堡、マンハイム、維納也等に存

するものが夫れである。一定の區域を限りて他と隔離するをせず娼家を散在せしめ衛生的監視の下におく散娼制度なるものがある、白耳義のブルッセル、佛國の巴里の制度はそれである。更に獨逸の伯林や米國の中部の都市にあるやうに娼妓に公認鑑札を與へ自前にて何處にても勝手に任ましめ、警察の監督の下におく個人的散娼制度がある。而して散娼制度は娼家組織も個人制度も弊害は多いと見るは學者間の通説である。どうしても取締は行屆かなくなる、監督の任にある警官や醫師は賄路と他の誘惑にまけやすい、鑑札を受けずにする者が殖える、且つ到處に在るから良家に及す風敎上の弊害が多いのであつて、公認制度では今日の處集娼制度の方がまさるといふ説が多い、然らば吉原の如くにすれば取締法の効果があるかといふと、集娼制度にも充分弊害がある。

△集娼制度の排すべき理由

第一、集娼制度は事實上隔離して集つてゐない、之は維納也でもフランクフルトアンマインでも實地に這入つて見ると或區域を限てあるが、そこのみにちやんとしてゐない、密に潜つて出張店を出す、客引の好い、便利の好い處に頭を出すやうになる。私娼はやたらに其附近に出來る、淺草は其好適例であつて、つまり病毒が一つ所にのみ居ず全體に行き渡る樣な具合に、事實上隔離は不可能である。

第二、隔離してゐる區域は非常な犯罪のバチルスを養成する中心になる。佛蘭西のフーニエといふ著名なる娼妓研究者が「女郎屋の區域は罪惡養成の高等學校である」と斯う云つてゐる通り、博徒醉漢泥棒殺人犯者、其他諸種の犯罪は茲に養成せられ此處に集るのである。

第三、集合制は賣淫を社會に廣告する、吉原は今どうなつてゐるか、私は知らないが大阪の松島も京都の祇園も凡て遊廓は普通の民家より幾層倍宏壯な美麗な建築で、罪惡といふ觀念を與ふることなく、却つて面白いといふ感興を催さしめる廣告手段を取る事になる。ハンブルヒでもマンハイムでも娼家の窓には立派な窓硝子が張られてゐて、直にそれと分るやうに出來てゐる。亞米利加でもレッドライト、デストリクトと稱し、赤い洋燈が點せられて遊客の眼を惹く。此制度は殊に著しく賣淫を廣告し、公衆を刺戟して賣淫に對する社會の道德性を痲痺せしめる。

第四、集娼制度は淫賣を益々商賣化する、内所でこそ／＼營むのでなく、平然と大きな顔でやるやうになる、堂々たる營業のごとくになる、君子國たる日本の國會議員や市會議員に女郎屋の主人が居ると云ふ奇妙な事實を生み、賣淫屋の主人たる議員は立派な營業をなせるごとく靦然としてゐる、已に賣淫を營業として娼家軒を列ぬれば、人心を挑發し、售らん哉／＼手段を逞くして愈々害を流すに至る。

第五、集娼制度はそれ等の女を奴隷にして、奴隷賣買を奬勵する、女自ら自由に營業するでなく、可憐の婦女子は惡い奴の手に商品として賣買されるやうになる、斯くして二十世紀文明の一大汚辱たる奴隷が出來て來る、法律上は兎もあれ事實人身賣買の公行である。

第六、集娼制度は病毒の蔓延を防止する力がない、檢黴をして病毒の蔓延を防ぐといふのは全く名のみであつて、適當な監督の行屆くものでないことは、幾度も歐羅巴に開かれた

國際梅毒豫防會や、萬國公娼制度排斥會等で專門家の論述せる處であるから、醫師でない私は敢て蛇足を加へない。

之を要するに集娼にしても散娼にしても、娼妓を是認してやらせる以上は弊害は大である。人道上は無論のこと、風敎上からも、衛生上からも、社會問題の上からも、どうしても排斥するより外はないのである。

△吾人の範るべき道は即是れ

然らば無い樣にして方がいゝといふ實證があるかといふ事になる。是認がいけなくとも否認の方がいゝといふ反證が擧らなければ廢娼論は徹底した議論でない。私は此問題に心を潛め永く硏究してをるが、英國は一八八四年に公娼制度を全廢し、諾威は一八八八年に、丁抹は一九〇六年から廢止してゐる、英國と諾威とは兩國とも人道上からも風儀上からも衛生上からも無論良成績を擧げてゐる。けれども、それは暫く措き、今最近の一九〇六年の三月三十日に廢止の法律が出て同十月から實施してゐる丁抹の首府コッペンハーゲンに就て實績を示して見やうと思ふ。

コッペンハーゲンは人口五十六萬を有する丁抹第一の都で海岸の船つき場の、水夫等の往來の激しい、佛國風の輸入が多い、繁華な、愉快な都會で、芝居や美術館などの整つた、綺麗なところで、北歐の亞典と稱せらてゐる。玆では集娼制度も散娼制度も兩つながら行つて見た。其結果が頗る好いのである。これ等の制度を廢して了つた。そして今度は全然如何にしてさういふ良成績を收めたか、私娼をどうするか、花柳病の豫防は如何、これ等の事に就て私は五つの點をお話して見やう。

(一)コッペンハーゲンにて若い女の一番安い賃金は一週間に七クローネーである。一クローネーは日本の約四十錢であるから一週間二圓八十錢が此地に於ける婦人の最低賃金としてあつて、獨身女子はこれ以上の金を儲けなければならぬ。女が道端に迂路々々してゐるのを見ると巡査が捕へて、一週間に何をして幾クローネーを儲けるかを聞く、何もしてゐないといふ事なれば之を職業紹介所に送つて適當な職業を與へる。若し又働きを厭ふて不埒な行をする者は容赦なく牢の中に入れる。賣淫といふ事が證明されなくとも、浮浪罪に處せられる。即ち先づ無職浮浪の婦人を監督するのである。

(二)袖を引くとか其他男子を誘惑してゐるのを見つかると罰する、家の窓に遊び場所を廣告するもの、賣淫女に家又は室を貸すもの、娼を養ひおくもの、皆同じく罰せらるゝ、風儀を亂すといふ上からである。

(三)男女とも花柳病を他人に傳染したる場合は、其方の法律によつて罪せらるゝと共に、强制的に市立病院に入院せしめられる、そして酷い損害賠償を要求される事も、醫療の費用を負擔せしめられる事もある。

(四)一年に四萬クローネー即一萬六千圓出して男女十二人の市醫を各區に分置し、男女とも下の方の病ある時は此市醫が無料で治療して呉れる事になつてゐる。病症によつては無料で市立病院に入院させられる。そして全治するまでは決して自由にさせない。治療の途中院を出づるものがあれば直ちに衛生警察に通知し、今度は强制的に引張られ動きのつかぬ處に入れて治療せしむる。浮浪罪に問はれたる婦人、及び男

子を誘ふて居る處が見つかつて拘引せられた婦人は、强制的に檢黴を行ふ、

（五）市醫のところに行くを耻ぢて內密に普通の醫師のところにゆくものもある、それは勝手である。併し此場合には醫師は患者の姓名は秘し置くが、直ちに衞生局に屆けねばならぬ、屆出を怠る時は罰に處せられる。醫師のところに通ふて半途に全治せずに來なくなつたものは、直ちに其宿所姓名を警察署に屆ける。警察は直に彼を探して官醫に紹介するか又は市立病院に入らしむるやうにする、若し又其宿所をくらまし、又は衞生警察の命を應せぬものは重き罰に處せられる。

△敢て良果の實證を提供す

即ち以上を約言すると全く娼妓なるものを認許しない、そして花柳病者は男女とも善良なる社會から隔離するやうにして、强制的に全治せしむるやうにするのであるが、此處に社會の安全辨がある、官醫制度を以て無料診察と無料治療を與へることである、コムミユナールホスピタル（市立病院）に無料にて男女とも自由に入院せしめて根治せしむることである此安全辨がないと、つひ病の初期に我慢し、秘するやうになつて、自然病毒の蔓延を防ぐことが出來なくなる。病毒は男女間のみならず子供にも感染するのであるから、十分の注意を要する。一方に嚴密に賣婦を禁制するやうにし、他方には安全辨を設けて病毒の傳染を防ぐやうにつとむる點は、確に考慮を要するところであると思ふ。

風俗上の結果はと云ふに固より良い。尤もコッペンハーゲンは婦人の教育の發達したところで、婦人の權利を重んじ、婦人が市會議員及び市吏になつて居る。從つて婦人の種々の團體が風俗上の改良に努むるし、婦人も自ら羞耻の感は鋭敏であつて。公娼全廢は婦人達の主唱で出來たのである。公娼廢止後密娼も減じたと警察官で風紀部につとむる人も話しておられた。夜になると怪しき婦女子が賑かな街上を徘徊せぬでもない、然し公娼制度ある歐米の都會よりも遙かに密娼はない。風儀なるものは種々の原因で立派になるものであるから一概に云はれぬが、廢娼は風儀をあしくせぬと云ふことだけはコッペンハーゲンの例によりて言はれる。衞生上の結果は、新法律實施後未だ六年であるから明かにいふことは出來ぬが、梅毒患者は一九〇五年には千人中十一人四、一九〇六年には千人中十一人二であつた、而して新法律の實施後一九〇七年には十二人九となり、一九〇八年には十四人二になり一九〇九年には十六人四、一九一〇年には十三人一となつた是は市の衞生局の公報であるが、實施後は聊か增加して居る是位の統計上の增加は當然であると思ふ、なぜならば新法前には輕症者は一々屆出をしないものが新法によりて非常に嚴重に屆けるやうになつたからである。且クリスチアナでも同樣であるが公娼廢止後は一時多少患者が增加するが、一兩年後は漸々と減少してくる。コッペンハーゲンでも一九〇八年後每年減少してゆく、同市の衞生局の醫學博士ハイベルグ氏とも談して聞いたが樂觀しておられた、尙四年即實施後十年にもなれば大に良効を示すであらう。公娼を廢し檢黴制度を止むれば衞生上の害は甚しいであらうと憂へてゐた人々も其結果の預想のやうでないので却つて態を喫しておるものも少くない。是等は私が昨年末に一ケ月間同市に於て調査したも

のであるが、公娼制度は實績上是を廢止するも衞生上害あるものでなくて、多くの良果を收むるものであることの實證として諸君に提供するのである、而して玆に公娼制度の全廢を主張するものである。

△救濟的手段と豫防的方法と

次には娼妓の救濟問題であるが、日本に於ても救世軍の婦人ホームや、矢島先生其他の慈愛館やがあつて救濟の途を具へておられる、是は議論より已に實行に入つておるのであるから論ずる必要はない。日本に於いて大いにやらなければならぬものはその豫防手段である。公娼にもせよ私娼にもせよ、凡て賣婬者を救濟するのも大切であるが有識者は其豫防に力を盡さねばならぬと思ふ。凡て社會の病的現象は救濟よりも豫防が大切である。是は性慾問題であつて其方からも講究して豫防の工夫もあるが、他面大なる經濟上の問題である。女子の失業者であるとか、家族扶養の任ある貧困者であるとか、或は諸種の經濟上の壓迫から延いて、心ならずも苦海に身を沈むるのであるから、大に又深く經濟上の豫防的工夫が大切である。ミルやベサント夫人等は原因を人口の過多に歸して、人爲的に生産率を制減するがよからうと云ふて居るが、それよりも孤兒及び私生兒たる女子の身上を保護することは最も大切であつて、歐米で賣淫婦になるものゝ多數は孤兒と私生兒の成長せるものである。即ち社會制度の改善に着眼を要するのである。

是は又衞生上の問題であるから、個人衞生の思想を發達せしむる樣にせねばならぬ。ソシエテ、フランセース、ド、プロフイラキシー、サニテール、エ、モーラール（衞生的道德的豫防會）と稱する團體か佛國にあり、フールニエ博士は熱心に力を盡して居る、米國でも同名の會はドクトル、プリンス、マルロウやコロンビヤ大學の財政學教授セリグマン博士等によりて指導せられて居る、梅毒の危險や、不正なる男女關係の恐るべき結果を來すことなどの問題を學理的に教育的に書せる冊子を出版して青年男女の間に配布し、又數名づゝの青年を毎週一回程專門醫師の宅に集めて、娼婦を弄ぶの有害なる事を細かに敎へて居る。英國では倫敦監督を主領とし各派の宗敎家及び著名の人々が組織せるナショナル、カウンシル、オブ、パブリック、モーラル（英國公德奬勵會）と稱するものがある。男女間の關係について貞潔の念を深くするために冊子を發行し、プリヴエンション（豫防）といふ雜誌を刊行し、公開演說を開きて活動して居る。又社會的純潔促進會といふ團體があり、風俗をみだし、性慾を刺戟するやうな圖書文書其他のものを取締るに力を用ひて居ると共に賣淫婦の横梁せぬやうにつくして居る。獨乙ではドイッチエン、ゲセルシヤフト、ツルベケムフング、デア、ゲンユレヒツクランクハイテン（花柳病防止協會）といふものが、花柳病の恐るべきものあることを知らしむるやうに、臘細工でつくつたる病毒に侵されたる模形や、統計表や、圖書を展覽し、各都市を巡回して講演をやつて居る。更に是は個人の道義心の問題であるから十分に道義力を養はねばならぬ。英米には白十字同盟なる團體ありて會員は誓つて娼婦に近よらざるやうにするのみならず純潔の品性を磨くにつとめて居る、是は頗る強大なる團體である。又英人ブルームホールが建てられたアライアン

ス、オブ、オノア(名譽同盟)の如きは、其大會に五千五百人も集る位夥しき會員を有し、機關雜誌を一ペンニーで賣つてゐる。此會は男子が婦人を愚弄しない、情念を紊らない、誓つて純潔を重んじて、男女間の德操を全うしやうといふ男子の團體である。

婦人の側にはスノウヅロップスと稱へて、「雪の花」の如く綺麗な操を保つといふ會がある。セフイルドといふ處のワトソンといふ婦人の主唱で同名の雜誌を機關として發行し青年女子の間に配布する、又誘惑に勝つ樣な文章を極く平易に書いたものを工場に働く女子達に配つてゐる。雪の花會!何といふ美しい名であらう。

英國の靑年男女の間には斯うした美しい會がある。堅い信念と深い同情を以て働いてゐる。私は廓淸會が日本に於ける斯ういふ機關となつて、自ら娼妓制度が要らなくなるやう、純潔の心の團結が、日本中に遍からん事を切望して止まないものである。

獨逸などに行くと汽車の客車の中に、白い十字や赤い十字の紙に、若い娘達が男子の壓迫や危險に會つたならば、これこれの處にお出なさい、直にあなたを救つて上げます、と書いて各都市にある婦人會の宛名と電話番號が配してあるものを、三等車や四等車には何處にも貼つてある。女が惡い者に誘拐され、必ならずも深い淵に沈まんとする者を豫防するためにドイツエン、フラウエンブンドといふ樣な團體があつて色々と其方法に心を碎いてゐる。日本に於ても此方法が直に幾何の效果があるか知らないけれども、婦人の智識の低い本邦の如きにありては、殊に婦人の危險を防ぎ救ふ方法を充分考究すべきであらうと思ふ。公娼制度を排すると共に是等豫防の策については十分に力を盡さねばならぬ、救濟的手段と豫防的工夫とが共に行はれるやうに努むることは極めて肝要なる事である。

更にモノガミツク、プロスチチユーションの即藝妓及び妾などに關しても論述すべきであるが、それは他日にゆづる。然し論意を推して考ふれば大體は察せらるゝであらう。私は衷心より廓淸會の奮勵によりて娼妓制度といふ社會的病毒が全く一掃せらるゝやうに望むで止まぬのである。

各國語聖書發賣　定價目錄無代進呈

聖書は約三百有餘の世界各國の言葉に飜譯致居候、而して日本語と英語は金五錢より十錢、二十錢、三十錢——一圓、二圓、三圓——八圓、九圓、十圓、廿圓、廿五圓等各種有之候
聖書御入用の方は定價表に從ひ御注文と同時に御送金願上候、聖書は各地の書店にて販賣致居候間書店より御買求相成候も又は本社へ直接御注文相成候とも宜敷御座候
◎牧師、宣敎師、日曜學校々長、同傳道師、及婦人傳道師諸氏にして傳道の爲聖書取次販賣御希望者は御申込被下ば特に販賣契約取極め可申候

各國聖書發賣所
橫濱市山下町五拾三番地
米國聖書會社
振替貯金口座東京一八四一〇番

BIBLES
IN
VARIOUS
LANGUAGES
AMERICAN
Bible Society
Yokohama.

主張

廓清時言

球川生

新宿遊廓移轉問題

東京日々新聞の報ずる處によれば長谷川警視廳第二部長は新宿遊廓の移轉を必要と認め居れるが如し。部長曰く「市が膨脹する結果今日では郡部の新宿も市と近接して殆んど市內と異なる處がない、斯る處に妓樓軒を列ぬるといふ事は風敎上からいつても市の體面からいつても實に困つた事である、同所は市に近接してゐるだけに諸官省や會社商店に勤務する人の住む處としては便利な處であるが貸座敷櫛比せるが爲めに此處を避け大久保代々木邊に住む事になつてゐる、幸にして識者の間に同所の移轉說が起つて愈々移轉した曉には新宿の面目も一新されて好い市の近接地となるであらう」

吾人をして言はしむれば何ぞ移轉を待たんや、全然撲滅して可なりである。然し今俄かに其の斷行が出來ないとすれば敢て所謂識者の指圖を待つの要は無い。斷乎として信ずる處を行ふて可然だ。

南北千住町の貸座敷問題

市區改正の必要上南北千住町貸座敷は移轉の止むなきに至り、移轉地の詮考中で多分は西新井大師附近に移轉するのであらうとの事である。然し目下の營業者は僅かに南千住八名北千住十四名の營業者に過ぎない。若し當局者が親切に時世の變遷を說き、其の移轉よりも寧ろ廢業の可なる事を說明して聽かしたら、恐らく皆衷心から業を廢するであらう、それともどうしても廢めないと言ふ者があつたら、吉原なり、洲崎なりに合併すればいゝではないか、僅か二十軒位の爲に更に新なる淫賣所を設けてやる必要は斷じてない。

太陽閣を撲滅せよ

東京で私娼と言へばたゞ淺草六區の事のみと思つてゐる人が多い。が其の實新橋、赤坂、柳橋を初め藝者と名くる私娼の跋扈は凄しいものである。別けて近頃著しく發展し來りたるは向島で、一昨年迄七八十名の藝者であつたものが、昨年は百三十名となつてゐる。而して多々益々增加の傾向であるが、別けて此地の太陽閣の如きは俗に所謂連込みと稱し家族風呂と名附け、白晝言ふ可からざるの猥褻行爲の媒介をなしてゐる。我警視廳の風紀當局者は將に之を何と見てゐるであらうか。

藝妓税百五十萬圓

藝妓税は本年度各地方雜種税中總高の第二位に位してゐるといふ。而して其高正に百五十五萬一千四百四十七圓にて前年度よりも十萬圓の增額を來してゐる。斯くの如くにして藝者は國家の財政上、大切なる顧客となり、從つて國家の之を遇すること、愛國者の如く、斯くて國家風敎の紊亂年々歲々甚だしきを加へる。世の敎育家、宗敎家諸君は抑も此傾向を

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

何と見てゐるであらう。

嗚呼七千萬圓の遊蕩費

尙又前記百五十萬圓の藝妓税に就き、更に他方より觀察し試に全國の各種藝妓の收入平均を納税額の五十倍と見れば、藝妓の爲めに遊蕩家の費消する年額は實に七千七百五十七萬三千三百五十圓である。そこで若し一年間藝者を買はぬとすれば正に地と酒税を合せし程の金額を餘し得る勘定である。ヤレ行政整理の財政整理のと內閣諸公を始め天下の大政治家諸君が、苦戰奮闘の結果、辛うじて產み出せるもの僅に五千萬圓、吾人は寧ろ內閣諸公が藝妓撲滅に全心全力を注がるゝの效多からんことを思ふ。

東京市の藝妓五萬六千人

東京市に於て大正三年度に徵收する雜種税の中に於て最も多額を占むる藝妓税の十六萬五千九百九十圓なりといふ。卽ち之を一二等及び大小の藝妓の數に割出して見ると、大小の藝妓約五萬六千人、此の五萬六千人が、料理屋、飲食店、待合茶屋、遊船屋等に出沒して風致紊亂の營業を稼ぐのである凄ましいものではないか。

何ぞ拒絕せざる

新吉原の貸座敷引手茶屋一同は先頃飛行機で殉難された木村、徳田兩中尉の遺族に對して壹百圓を某新聞の手を經て寄贈したさうだ。そこで其取次をして新聞は『新吉原の美擧』と題し麗々しく社の名譽でもあるらしく報道してゐた。吾人は其果して美擧なりや否やを知らず、然し若し自分が假に木村、徳田兩中尉の遺族であるとすれば自分は斷じて其寄贈を受けなかつたであらう。我々は盜んだ金を呈されたとて難有くなるやうに淫賣して稼ぎ上げた金の幾分を分け與へられて有り難く頂戴はどうしても出來ない。況んや其百圓の中には田舍の父老達が汗の塊を、伜の學資として送つた金も含んで居るであらうし、又委託金の費消や、主家の掛取金の拐帶は申すに及ばず、甚だしきは强盜した金まで含んで居るのである。記者は木村、徳田兩中尉の名譽の爲に此金を拒絕したかつた。

酌婦雇女敎習所に就て

千葉縣下に於ては海上郡旭町秀蘭女學校主、同郡飯岡小學校長の兩人協力して「飯岡町酌婦雇女敎習所」なるものを設置し、最寄りの飲食店、曖昧屋に巣くひ風紀を紊しつゝある俗稱『ダルマ』などを入學せしめ、小學の課程を熱心に授けたる甲斐ありて、頗る良好の成績を得、本月十日第一回學術試驗を擧行したが、二十餘名の女生徒中十餘名は何れも優等者にして、同町『保健組合』は、夫れ〲賞狀及賞品を授與した。

尙其の試驗問題の主なるものを擧ぐれば一、家庭の圓滿を圖る方法如何、二、主人に事ふる心懸如何、三、お客の待遇上注意すべき點如何、其他五六の問題があつたが、何故彼等に一番大切なものを敎へぬであらうか。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

事業上の戰と公娼

森村市左衞門

諸君、私は今夕の御集りに列る樣な德もなく、人の前に立つてお話する程の學問もない者であるが、是非出て來いといふお手紙に接し、禁ずる能はずして出席した樣な次第である遊廓とか娼妓の問題に就ては、既に諸君の知らるゝ處で、更めて私共が申述べる必要はないのであるが、私は自分の立場から廓清會の御趣意――廢娼といふ樣な事に對して滿腔の賛成を表する者で、今後此會が一歩も退かず、手綱を弛めず勇往邁進、其望を達するに至られむ事を切望する者である。

△

既に御承知の通り、今後日本の立國の是非は如何といふと先づ競爭でなければならぬ。これに就て恐るべき病は肺結核と、次は甚だ申上にくい病であつて、此病毒は年一年猖獗に向ひ、醫師も大に苦心研究しつゝあるけれども、容易に撲滅の見込が立たないのである。人といふものは私も青年の時に覺えがあるが、目前にある物が欲しくなるものである。デパートメントストーアなどで綺麗に飾り立てゝあると、奥さんや娘さん達が餘分の着物迄買ひ度くなるのが人情である。之と同じく遊廓で飾り立つて見せられるとつひ不良の心が起る金がないと泥棒しても遊びたくなる。立派な役に立つ有爲な青年が爲に一身を誤り、延いて一國の上に大なる損失をなしてゐる事が何れ程であるか知れない。のみならず因之蔓延する病氣が實に結核よりも恐しいのである。

△

私は外國へ貿易してゐる者であるが、明年で四十年になり歐米の事情には內地に居る人達よりは多少通じてゐる。昨今カルホルニアに問題が起つてゐるけれども、之は久しい以前からの事で、唯に一國に限つた事でもない。病患が偶々彼處へ發して來た迄である。日露戰爭で俄に興隆して來た日本の腰を挫かねば、東洋に翼を伸ばす事が出來ないと考へて居る國が何處と何處にあるか諸君も御承知の事であらう、それが國內にのみ居ると却々分らぬ。私は商賣上それが分るのである。そしてそれが分ると甚だ恐しいのである。軍事上のことは私共の知らぬ處であるけれども、各國とも汲々として軍備に力を注いでゐる。併し乍ら歐羅巴では戰爭は馬鹿らしいと考へてお互にしない、それならば其軍備が何處に向つて必要かといふと東洋に對して利を漁る爲である。是は政治上の方面であるが、まだ恐しいのは事業の上の戰爭である。之は日夜間斷なく行はれてゐる處の最も激烈なる戰ひで、此戰鬪に於ては日本は外國の品に殘念ながら常に勝つ事が出來ない。幸に私の店だけは四十年にもなり得意は年々殖え、注文は段

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

々多くなり、亞米利加からも注文に應じ切れないで困つてゐる程である。併し全體の日本の上から見れば實に情ない有樣で、漆器陶器等の日本の特產物も皆模倣されては奪はれつゝある、安くて丈夫で、西洋人の望みに當て嵌る樣に眞似してこしらへるから、此方の商賣は年々奪はれてゐる、けれども之に向つて負けない樣に戰爭するのが我々の義務であるから在來のものではいかぬといふので、年々外國から器械を取入れ、種々な苦心をして負けない準備はして居る。

▲此間內務省から私は或書物を貰つた。それには軍艦、兵隊、鐵道、監獄、輸出入、金銀在高、農產、等各國の國勢比較表があるが、日本は實に憫れな數を示してゐる。軍艦は戰線に立得るものが片手だけないのである。貿易、輸出入、工業の上にも實にみじめな成績である。

私は廓清會に就き此會の目的たる公娼制度の廢止は勿論、之が根柢となり、東洋人が西洋人に負けない强壯な身體になり、結核や申難い病を驅逐して、肉體の上にも精神の上にも卓越して競爭上に勝利を占め得る樣ならなければならぬと思ふ。而して之にはどうしても信仰が必要である。三年程前迄私は無宗旨で威張つて居つたが、併し無宗旨は誤である事を悟つた。亞米利加等に參つて調べて見ると全く宗教の爲に發展してゐる。取引をしても欺がない、品物を送るにも値が下れば殘りを正直に寄越す、どんな大金でも平氣で使用人に渡す、それで決して持逃げをする虞れもなく、費ひ込まれる心配もない、若し假りにもそんな事をすると全く社會から容れられなくなるから誰もしない。私は嘗て正金銀行支店の西牧氏に尋ねた事があつたが、同氏は大丈夫保證人はなくても一人として逃げたりする者はないと云はれた。鐵道へ行つても御承知の通り荷物を預るに切符はない。銀行に行つても大金を預けて受取は呉れぬ。誠に美しい。日本などは實に恥しい事で、證文を書いてもまだ當てにならない、約束等は忽反古にされる、之は何故かといふと宗教といふ根本の力である。西洋では母親の膝に抱かれて眠つてゐる時から、神を畏れる事を知り、精神上の訓練があつて、正義を愛する念が强いからで、嘗てヴイクトリア女皇に、日本の公使が、どうして英國は這麼に隆盛を來したかを尋ねたら、女皇は一冊のバイブルを示されて、唯此力である、上下擧つて等しく此聖典を畏れ愛する處に英國の今日があると答へられたさうである。

私は此頃から無宗教と威張つてゐたのを悔いて、宗教に熱注し、色々な方面に研究して今日は或る一の宗教者となつてゐる。酒も飮まなければ煙草も呑まぬ、どうか一生の中に人間らしくなり度いと思つて、死ぬ迄勉强する積りでゐる。

▲日本人は眞に其民族の國家を永遠に地球の上に殘す事が出來やうか、一億年二億年此儘に殘る事が出來やうか、甚覺束ない次第である。こゝに廓清の必要があるのである。我々日本人は今や其分水嶺に立つてゐる。今三十年遲れたらどうなるであらうか、どうしても此二つの病毒の元を絕ち、男女間の交りを高尙ならしめないならば日本の前途は寒心に堪へない。身體さへ丈夫ならば大和魂を有つてゐる日本人は決して何の競爭に於ても人後に落ちるべき筈はないから、諸君は日本國の興隆の爲に貞潔を持し健康を保たなければならぬ。

沙市に於ける廓清軍の勝利

北米日本人會矯風部長　井上織夫

▲沙市の暗黒時代

社會の改良、風紀の廓清、男女の貞潔、家庭の和樂を以て主義とせる會の聽衆諸君に對しお話しすることは私の光榮とする所である。私の演題は『米國に於ける廓清軍の勝利』と云ふのであるが、今日は其一部分であるシャトルに於ける廓清軍の勝利に就いてお話ししたいと思ふ。

御承知の通り米國の政體は我國の夫とは異つて居て、上は大統領より下は巡査、押丁までも、悉く人民の選擧によりて就任する事になつて居る。そして官吏は即ちパブリックサーバントで、人民の雇人であると、人民も官吏共者も思ふて居る。故に吾等が彼等官吏と話しをする時にも、日本などの如く威張る事なく、仕事着の儘打解けた話をして、至つて親しき友達に接するが如くに相談をする。法律の如きも現在嚴然として效力を有して居る者でも、若も人民が其施行を欲せざる時には、之を死せる法律(dead law)として之が施行を停止する。酒保の如き、賭博の如き、人民の大多數が此市の繁榮の爲に是非とも設けねばならぬとすれば、其意見に從つて、是等を禁ずる法律があるに係はらず、之を勵行しない實に不・思議の樣であるが、是が米國の特別の習慣である。遂三年前までは、法律が嚴存するに係はらず、此の人民の意見に由り其法律が勵行せられずしてあらゆる罪惡が公々然としてシャトルの市に行はれて居た。即ち女郎屋もあれば、賭博場もある、酒屋なども尤も多く夜となく晝となく公開され、從つて種々の罪惡が路傍到る所に行はれて居つたのである。そこで吾々一派の者が是は甚だ困つた事であると考へ、警察署長に面會して、法律の勵行を要求したが、署長は人民が其勵行を要求せぬ以上は余等には如何ともすることが出來ぬとの挨拶であつた。之に加へて吾々日本人は萬里の波濤を超えて米國へ來て居る事であるから、旅の恥はかき捨てゝあると考へ、唯一攫千金の利を得んとのみ齷齪して居るので、道徳も風紀も顧みるの暇もなく、妻をして醜業をなさしめ、或は娘をして客を取らしむる等、あらゆる醜なる業を恥とせずして行つて居たのである。

▲安息日の勵行

是は吾々基督信徒として默止する事の出來ぬ。なんとかして彼等を悔改めさせ、正道に就かしめんと種々なる方法を試みたが、彼等の良心は已に麻痺して居るので、眼中唯利益あつて、正義もなければ人道もない、彼等に對し何等の手管もなかつたのである。已むを得ないから個人々々に對して悔改を促すよりも、何等かの方法を以て之を導くより外はないと

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

考へ、吾々有志者が相謀つて、日曜安息日奬勵會と云ふを組織し、彼地の法律で定めてある通り、日曜日は必ず業務を休んで敎會に出ることを始めた。假ひ僞りでもよいから日曜には必ず敎會に出で、互に握手だけでもする樣にと、在米同胞の實業家に相談をしたが、彼等は妻子を本國に殘して此處に來て居るのである。其目的とする所は早く金を遺して錦を故鄕に飾りたいのである。正義の人道のと云ふ暇がないと云つて、耳を假す人がない。されど德孤ならず必ず隣ありで、私共の叫びに佛敎家の中にも、或は宗敎家以外の人でも、商店を其日は閉ぢて敎會へ行かうと云ふ人が出來たので、遂に其會の成立を見たのである。所がシヤトルのアンサルンリプルの人々が、日本人でさへ此國の美風良俗に則る爲に、其商店を閉ぢて日曜に休業をする良き例を始めたのに、吾等が安息日を無視してあらゆる罪惡を其日に行ふて居ると云ふは實に恥づべき事であると云ふて、之に廓淸派の人々も聲援を與へ始めは日曜には酒を賣らせぬと云ふ法律の勵行を警察署に迫り、引續いて是等の諸罪惡を取締る法律を復活勵行すると云ふ事になつた。

▲正義の勝利

そこで此の正義派の人々が窃かに探偵を放つて市長、警察署長等あらゆる當局者の內幕を探偵せしめた所が、驚くべし或は博徒と氣脈を通じ、或は盜賊と結托して居ると云ふ狀態で、賄賂の多寡によりて萬事を處理すると云ふのであつた。尤も此時の市長は酒屋、女郞屋の賛成で選擧せられてあつたので、是非とも市長から改選せねばならぬと云ふ議論が高まつて、遂に其改選運動を始めたが、敵もさる者であるから、之に反對して大戰爭となつた。實にシヤトル市始まつて以來の一大激戰であつたが、正義派の勝利となつて、レヴイングストンと云ふ人が當選し、今まで跋扈して居た酒屋はドシドシ閉鎖され、賭博場は禁止せられ、醜業即ち女郞屋も悉く營業禁止を命せられたので、博徒と醜業婦は其當時每日每夜隊を組んでシヤトル市から出て往つた。時のタイムス新聞が書いた文句の中にモーゼが埃及から出て往つた時を想出すとあつたが、實に其通りであつた。前に正義派に反對した市長は其後出て來て再び候補を爭つたが、二十年間廓淸主義の爲に盡力せられたるコトレル氏が八百三十四票の多數を以て市長の椅子を占めたので、益々廓淸派正義派の基礎は堅くなり、シヤトル全市に今日にては一人の醜業婦なく、一軒の醜業を營む家なく、米國五十五州の中シヤトル程立派な市は他にないと云ふ樣に改つたのである。是に就て私が快く感ずるのは時の政府が反對したに係はらず、正義が最後の勝利を得た事である。今や加州に於ては土地法案を以て我が同胞を苦しめんとしつゝあるが、我等同胞が旅の恥は搔きすてゝあると云ふ樣な考を止めて正義人道の爲に働くと云ふ樣になり、鄕に入つては鄕に從ひ、苟も彼米人に輕蔑せらるゝが如き行爲をなすものなく、共に一の天帝を信じて、一人の醜業者なく、一人の姦婦なく、其人格其品性とも彼等をして尊敬せしむるに足る樣になつたならば、必ず勝利は吾等の上にある事を疑はないのである。故に吾等は加州に於ては我が同胞を排斥する者は米國人でなくして我等自身である。我等が苟も純潔で正義の爲に奮鬪せば、彼等は日本人排斥も出來ぬ事と思ふ。

論説

排日思想の裏面

ライオン歯磨本舗顧問　井上胤文

○お里自慢

排日の原因もこれまで色々あつて、嘗つては「日本人は賃銀が安い」と云ふところから敵視せられた事もある、が今日ではそんな問題ではない、或場合には却つて日本人の方が賃銀の高いやうな事もある。然らば何が排日の重なる原因となつてるかと云ふに「日本人は同化し難き國民」であると云ふのである。この「同化し難い」と云ふ事は様々に解釋もあらうが、まあ早く云へば國風に合はぬ、所謂家風に合はぬと云ふ事である。

我國ではこの家風に合はぬと云ふ事は決して耳新らしい事でなく、これまでどれだけの日本婦人がこのため苦しめられたか知れぬ、この聲は多くの我が姉妹を刺戟し、且驚く可き力を有つて居るのである。これがために不縁となつて歸る女も澤山にある。

さて嫁の言葉の中、一番嫌はれるのはお里自慢である。これは親兄弟は無論の事、親戚に至るまで、誰も彼も嫌ふ。昔鴻池の娘さんが嫁に行くと、いつも離縁になる。なぜかと云ふと卽ちお里自慢からであつて、例へば「こゝには金の棒はいくらありますか」「三つあります」「實家には三十六本ありますよ、金の鷄はいくつありますか」「二つだよ」「實家では六十六ありますよ」とこんな調子である。だから嫁としては、容色はよし、金もあり、藝もあり、非難すべき點はないけれど只そのお里自慢が癪に障るので、かうなればモウ感情問題である。

○男女混浴

我が日本の移民にしても同様、彼地に行つて居れば丁度嫁に行つたやうなものであるから、先方の習慣も貴び、宗教も尊重すべきであるが、どうも日本人は無遠慮で、自國の習慣をそのまゝ行つて憚らない、(先づ私は布哇の移民について云つて見るが)それが少しは品のいゝ事でゝもあれば良いのだが、彼等のやる事を見ると私共實にヒヤ〱する。由來布哇あたりに行く日本移民は、多く福岡、熊本、山口、廣島、又は宮城、新潟などのものであつて、中でも教育のない、名譽も外聞も思はぬ、と云ふよりも寧ろ分からない所謂お百姓様であるから、其無作法も無理もない事ではあるが、何と云つても東京あたりでさへ、見る事も聞く事も出來ないやうな習慣をチットとも恥として居ない。

一例を擧げて云へば男女の混浴の如きである。彼等は本國に於てすらやらないこの混浴を公々然とやつて居る、而かも日本人のクラブに行くと、そこに浴槽があつて、圍も何にもない天空の下で、遠慮なく裸體をさらして入浴して居る、だから汽車の窓から見ると恰かも男女の神が天降りました

やうである。

○妻女賣買

更に妻女賣買と云ふ事は公然の秘密として行はれて居る。尤もこの女は幾金と必しも札は付いて居ないが、結果がさうなつて來るのである。

一體彼地に行くと女が非常に威張つて居る。女が少いからである。今では布哇の人口十八萬の中半は日本移民であつて女も隨分行つて居るが、最初は壯丁のみ渡航して女はほんの僅かであつた、娘一人に婿八人と云ふけれど實際娘一人に婿幾十人と云ふ有樣であつて、なほ今日でも女が行つてると云つても矢張男子に比して甚だ少い。だから今申すやう女が威張るのである。亭主なんかグズ／＼云はうものなら、直に「出ておいで」と云ふ權幕であるから、嫌になつたら女が姿をかくす位何でもない、そんな場合に男は知人を賴んで、草を分けても之れを探し出さうとする。すると女の方にも味方があつて、その人等が、まあ／＼と男の方と談判をして交渉の結果、七百圓なら七百圓で妻を賣ると云ふやうな事は決して珍らしくない。して彼の女は八百圓には高い、まあ五百圓位のものだらうなんかと云ふ言葉はシバ／＼聞くところである

我が同胞は外國に行つて實に斯の如き野蠻極まる行をして平氣で居るのである。

○世界的修養の缺乏

又我國をはなれて而も米境にある以上、他に行つてると云ふ考もなければならぬのだが、世界的修養がないから先方の習慣を尊重する事に意を用ゐず、徒らに感情を害するやうな事になるのである。例へば日曜日の如きも、彼地では皆仕事を休んで心靈上の修養に日を暮すと云ふ習慣であるのに、日本人は一切お構ひなし、日曜でも鍬をかついでサッサと出て行く、巡査が來た時だけは木陰にかくれて、行つてしまへば又仕事をやると云ふ風で彼等の感情を害して居る。

宗教に於ても其の通り、大和民社とか加藤淸正の社だとか無遠慮にどこへでも建てる。

それからまたモ一つは醜業婦である。尤も外國の女と云へども醜業を營まぬではない、けれども何れも自國人を相手にしてるに反し日本の女は金さへ貰へば、どこの國人でもかまはない、且又數に於ても第一位にある。ホノルヽより少し距れたイブリと云ふ土地では日本の醜業婦が三百人住んで居て五百人までは、イツでも供給する事が出來ると云つて居る。外人醜業婦は居ると云つても實に僅少なもので、三百人五百人と供給する事の出來るのは獨り吾々の姉妹のみである。殊にペーデイ(月給日)になると、どこから來るものか澤山の醜業婦がやつて來る。彼等は今日は、どこそこのペーデーだ、明日は彼のキャンプのペーデーだからと云つたやうに、月給日をつけ込んで醜業を營みに來る。まことに我が同胞はあらゆる耻を外國にさらして居るのである。

日本內地の醜業婦は、あんどん部屋で泣いてる位であるが、海外にある我が醜業婦は展覽會的に其醜態を暴露して居る。

私は國際の上から見ても、人道の上から云つても、この海外同胞の風紀を取締る事が焦眉の急だらうと思ふ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

論説

國民的弱點の曝露

基督教世界主筆　加藤直士

加州の排日運動の裏面に横たはる多くの理由のうちに、在米日本人の不品行即ち酒色の誘惑に對する日本人の無力と云ふ弱點の含まれて居る事が、其後次第に明白なる事實となつて來た事は、如何にも遺憾至極である。若しも日本人の一般倫理思想が之を歐米人に比して遙に低いとか又は道德的標準が兩者同日の論でないとか云ふので有ば、それは頗る根本的の問題であつて、今日の事ある亦萬已むを得ぬ所と斷念する事も出來やうが、單に酒色の誘惑に對して其の情慾を制し切れぬと云ふ如き最も卑近な實際的方面に於て、歐米人の擯斥を受けねばならぬと云ふに至つては一等國民と自稱する、日本人として返す〴〵も口惜き限りであるまいか。

△

今回歸朝せる大久保牧師の談によれば、オグデンを中心とせる方數十哩の地方には日本人僅に五六百人しか住居して居らぬのに、此邦人を華客とする宿屋十三、玉突場十三、料理屋銘酒店六七軒外に多數の醜業婦、賭博師があり、恰も日本の勞働者は酒と女と遊び場がなければ一日の生活することが出來ぬと云ふ弱點を曝露して居るとの事である。是れ固より加州に於ける日本人の全體を代表して居る事ではなく、まして之を以て日本國民の全體を律する能はざるは言ふまでもなき事ながら、併し顧みて思へば、玆に日本人の最も大なる弱點が餘蘊なく曝露されたものと謂ふべきではあるまいか。或は之を以て海外移住の勞働者の狀態に過ぎずと辯護するものもあらうが、如何せん事實は斯かる辯護を許さぬものがある、飲酒の問題は姑く之を措いて、我國民の弱點中の弱點たる男女間の不品行に就て考へて見るならで、貞操に關する觀念の薄弱なること決して獨り下層社會に於てのみならず、寧ろ中流上流の社會に於て益々甚しきを加ふるの觀なきを得ぬ其證據の最も顯著なるものは、過日も評論を加へた通り、奥田文相が教育會の總會演說に於て公々然我邦上流社會の蓄妾の弊を攻擊した一事に於て明らかである。世界一等國の何處に果して一國の文部大臣が蓄妾の攻擊を教育會の公開演說に於て試みる所があらうぞ。然るに良心痲痺し耳目醜態に慣たる日本國民は一向之を意に介せず、甚しきに至つては却て文相の演說は些と口幅廣しとして之を揶揄せる新聞紙すら有つた。是れ實に驚くべき事である。加州民をして日本人の道德的標準は市民權を與ふるに適せずと主張せしむるも此點より見る時は吾人に辯護の辭なきを遺憾とせざるを得ぬ。

更に甚しきは日本の最大宗派たる東本願寺の法主が、常に傾城の巷に出入し、遂に最近一娼婦を落籍せしめて之を本山の附近に圍ひたりと云ふの一事である。日本の佛教界の腐敗は、今に始めぬ事ながら、宗教上の原則より見れば其末路は愈目前に近づいたものと謂はねばならぬ。併し佛教の末路も久しきものにて、未だ容易に佛教の滅亡を見るに至らざるは

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

何故ぞ。是れ眞宗數百萬の信徒の中に法主の斯る不品行に對して眞に憤慨の念を抱くものがなく、本山の改革は何時も單に宗制上又は財政上の改革であつて、未だ嘗て道徳上の根本的改革の運動を起せしことなきの致す所である。我邦佛教信徒の男女問題に關する良心の痲痺は到底吾人の想像以外である。此點に於ける我邦多數國民の道徳的標準は未だ以て世界の文明國民の夫れと對等の位地に在りとすることは出來ぬ。

△

世界の有ゆる宗教中色慾の問題に關して、飽まで嚴格なる道徳的標準を維持し、一歩も此點に關して人情の弱點に讓歩しなかつたのは古今東西唯獨基督教あるのみである。此點に於ては儒教も佛教も神道も回々教も希臘羅馬の諸宗教も悉く失敗者である。彼等は皆此の人情の弱點と妥協する事に依て辛くも其生存を保つことを得た。彼等が若も基督教ほどの熱誠を以て貞潔の道を人類に要求したならば今日吾人が見る如き多數の信徒を歸依せしむることは到底出來なかつたらう。現に今日基督教が我國に於て傳道の効果の案外に擧がらぬ一大原因は其の一夫一婦の道徳を一歩も割引せぬからである。若し此一點さへ讓歩するならば基督教は期年にして日本の最大宗教となるであらうと或人が云つたのは根據なき假説ではない。忌憚なく言ふならばかの源氏物語に見る如き我邦の宮廷制度は基督教の倫理思想から見れば甚しく遺憾なきを得なかつた。頑迷にして卑劣なる基督教の反對家は畏れ多くも此事を以て基督教は日本の國體に合せず抔と主張したものである。然るに今日は如何。今上陛下の御家庭は何の故を以て從來の仕來りと一變せる大改革を斷行し給ふたのであるか。是れは東洋諸國の例に倣はれたのであるか。否な決して然らず歐米の基督教國の實例に鑑みて其長所とする所を採用して、範を國民全般に示し給ふたのではないか。西洋諸國の新聞雜誌は聖上御踐祚の當時筆を揃へて此事を特筆大書したではないか。果して然らば忠良なる日本の臣民は恐懼慚愧先を爭ふて舊來の陋習を一掃し、一夫一婦の制度をして國民一般の遵奉する所たらしめる爲めに道徳界の一大革命を起さねば成ぬのである。啻に制度に於てのみならず實に其精神に於て飽まで貞潔の美徳を發揮せしむる樣百方努力するのが世の教育家宗教家たる者の當面の職務である。

△

政治家も亦決して此問題を等閑に附することは出來ぬ。如何に外交を振はしめやうとしても、日本國は一夫多妻を默許する國なり、日本人は淫蕩國民なり、世界の醜業婦を供給する國民なりと云ふ定評を一掃し得ざる限り斷じて世界の一等國たる道徳上の權利を主張する事は出來まい。玆に日本の最大弱點が潜んで居る。唯此の一點を改めしむる爲めにのみ有効なる手段が有るとすれば、何物を差措いても大抵の犧牲を忍んでも、斷然其手段を採用せねばならぬのではあるまいか。

一夫一婦は世界の大道、人倫の本義である。此大倫を無視する宗教道徳は只此一事を以てしても世に存在の價値なき者である。其價値なき者を存在せしむる日本人は其道念の如何に低きかを世界に向つて告白して居るのである。斯くては未だ世界の到る處に往きて、堂々其國の市民權を要求し得る程に道徳的標準が高まり居れりとは云ふとが出來ぬ。日本人は早く陸海軍の誇りを棄てゝ道徳上の誇りを取らねばならぬ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

論議

遊惰放逸の風

大阪朝日新聞　二〇

米國に於ける排日事件は國家交際上の問題なると共に亦人間交際上の一問題なり、而して其孰より之を見るも加州其他二三の州人が日本人を恐怖し嫌惡し排斥するは非禮不法の甚しきものなれば國家交際の上より同時に亦人間交際の禮儀上より彼等の反省を促し、正當の待遇を要求すること最も必要なる事柄なり。されば吾人は排日事件の起る毎に、筆を兀にして其の非理を鳴らし米國中一部民衆の迷蒙を啓くが爲に全力を傾注し來りたるが、凡そ人に求むる所有るものは亦自ら警むる所無かる可からざるが故に、内同胞に向つて我日本人の缺點と信ずる所を指摘し、世界の公論壇上に於て白人同等の優等人種たることを認められんとせば大に自ら省み自ら奮はざる可からざるを説き、戰勝の餘威に乘じ猥りに自ら尊大にし人を咎め人を侮り、武力を賴みに一も二も無く外交問題を有利に解決せんとするの不可を知らしめんと努めつゝあるなり。是に於てか外人の眼に映ぜる日本人の缺點の如き之を聽くは寧ろ吾人の喜ぶ所なるが、從來米國人の日本人に對する非難は急所に當らざるもの多く、却て其非難者の偏見を憫まざるを得ざりしに、昨日の東電中に見えたる新歸朝の一耶蘇教傳道師の談は頗る好く我が同胞の弱點を指摘し、反省の資料となること少からざりき。傳道師談話の要點はオクデンを中心とする方數十哩の地方日本人の居住するもの五六百を出でざるに、十三の宿屋十三の玉突屋六七の料理屋銘酒屋及多數の醜業婦賭博師あり、淫肆放蕩の風盛に行はるゝ所より米人をして日本人は此厭ふべき耽溺の機關を伴ふに非ざれば生活する能はざるものなりとの觀念を抱かしめ、嫌惡排斥の念を強うせしむと云ふに在り。吾人は米人が日本人の同化し難きを説き、商業道德を重んぜざることを説くを聽きては幾多辯解の辭を有すれども、放蕩自墮落の風を指摘せらるゝに對しては遺憾ながら之を打消すの言辭を有せざるなり。但し吾人は國民品行の總量に於て白人の日本人に優ることを信ぜず恐らく白人彼自身も之を公言するの勇氣を有せざるならんも我國風俗の短所として、社會の各層を通じ、飲酒弄妓に對し極めて寬大なる思想を有し、勤勉家と放蕩家との間に判然たる區別を爲さゞるが故に其非難を辯釋する能はざるなり。且つ白人の社會に有りても、昔時は矢張り同樣の風習ありしが近來は此邊の吟味頗る嚴重にて、四君子の體裁は米國に在りても極めて整然たるものあり、殊に其農業者の生活は簡易素樸其家庭は清潔閑寂なるが故に日本流の寬濶放漫を見て一驚を喫し、道德品行の破壞者なりと排斥するも決して無理と言ふ可からず、其非は明かに我同胞の方に在り、而して我在米の同胞に此の如き缺點あるは卽ち現在の我日本に放蕩自恣の風行はるゝに因るものにして、原因は正しく日本の風俗に在つて存するが故に排日を論ずるものは此點に於ても深く考ふる所無かる可からざるなり。偖日本に於ける飲酒弄妓の風は一朝一夕に始まりたるものに非ず、試に足利氏の末年より近時に至るまでの間、我國を見舞ひたる歐洲人の批評を見るに

EAST ASIAN LIBRARY

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

衆口一致日本人の怜悧なること、勇敢なること、禮儀正しき事、親切なること、忍耐力に富めること、吝嗇ならざること國法を重んずること、名譽心に富めること、學問を好むこと等を稱賛し往々にして之を歐洲人の上に置くものあると同時に、婦女を相手とする放逸の行ひを以て世界に類無き惡風なりとし日本人の爲に之を惜しむの語あること盡く皆然らざる無く、是或は我國民性とも言ふべきものにして變易す可からざるに非ずやと疑はるゝ程なり。然れども又近き日露戰爭に於ける外國從軍記者及武官の記す所を見れば、日本の將校及び兵卒ほど制慾心に富み品行の美はしきものは他に其比を見ず、容易く露國の强兵を破りたる其一大原因は此强烈なる克己心に在りと言へり。軍人として世界第一の品行を有する日本人は何故に普通人として疎野なる米國の西部人民にさへも指彈せらるゝ放蕩家となるか、是れ豈矛盾の甚しきものに非ずや。日本の政治家敎育家は排日問題の一端として之が解釋を試むると同時に、亦我國家の體面上其矯正策を講ずるの要あり。而して我愛すべき同胞は將來の日本を肩上に負荷し、小にしては自己大にしては國家の生活上活動の地を廣く地球の表面に求むる上に於いて、此自墮落の風習を脫却し、剛健堅實を以て聞ゆるの工風無かる可からず。自ら省み自ら努むることを怠りつゝ人の己を尊敬せんことを求むるは誤れるの甚しきものにて、其恥づべきは無識なる加州の勞働者に等しかるべし。

公娼問題の解決

通俗國民敎育會幹事　太田英隆

元來私娼と云ふものは、容易に撲滅する事が出來ないが、公娼と云ふものは、制度を改めさへすれば、いつでも廢する事が出來るのである。併しまた營業者に向つて明日から止せと云ふのは酷であるから、これは三年なり、五年なり、年限を定めその中に廢業するやうな方法が適當であらうと思ふ。

先般、拓殖博覽會で、物品と同じく、各新領土の土人の家族をつれて來て、それを色々な風態をして人々に見せた。政友會の代議士や中央新聞の記者など、社會問題にたちさわるものが、あれはまた何たる事であらう。進步したりと云ふ我が社會が、動物園的のあのさまは何であるか。遊廓に於てもその通りで、大に娼妓に同情し營業者を恨むものである。女も人である、。。。。これを動物的の取扱ひをして、あんな境遇に押しこめて、知らぬ顏をして居ると云ふのは、我が同胞を地獄に落して笑つてるのも同樣である。

又彼のモンテネグロを見るに(兵數僅に四千の小國である)地勢山國にして一向產業の發達と云ふものがなく、政府は、他にこれと云ふ財源のないところから賭博を公許して、それに稅を課し、而して兵を養ひ、敎育費に當てゝ居る。これを文明人の眼から見たら何と思ふであらう。然るにこゝに東洋に於て最も貴む可き貞操を賣買して、以て之を營業として公許せる國あるを見て、外人は何と云ふであらう。これを以てしてなほ一等國と誇る事が出來るであらうか。

爾曹恥る所のことを行ひし其とき何の果を得たりしや此等の事の終は死也(羅馬書第六章二十一節)

左表は大正二年四、五月中東京大阪の新聞紙上に於て報道せられしもの丶みによりて成りし者、若し夫れ全國に於ける同種の事實を集めたらんには果して如何なる大數に及ぶ可きや想像するだに戰慄に絶えず。

角谷和市稿

月日	原因と結果	事情備考	當事者	職業
四月二日	女の變心を憤りて之を斬る	關係の藝者に他に情夫ありとて	横濱 三十歳の男	消防組頭の伜
同	不節操より男に斬らる		横濱 二十八歳の女	藝妓
八日	妻の姦通を憤り妻を慘殺して己れも亦自殺す	十二を頭に三人の娘もありしが同居人と妻との不義を知り前記の始末、惡因緣の夫婦は自業自得なるも殘されたるは三女にて中にも乳兒の死せりとも知らず、血まみれの母の乳房にすがりて泣き咽ぶ樣慘鼻の極なり	東京 二十九歳の男 三十一歳の女	職工 職工の妻
四日	料理屋の女中に關係し情死す	母親に對しても餘程の孝行者なりしが顧客關係上料理店に出入せし事ありしより不圖女中に關係し	横濱 二十一歳の男	石炭店員
九日	娼妓に迷ひて實母を殺す	自己の放蕩を實母に異見せられしを憤る	大阪 二十九歳の男	人力車帳場の伜
十一日	娼妓に迷ひて無理情死を爲し、己も亦自殺す	金に窮して	奈良 二十九歳の男	元巡査
同日	私通の結果遂に轢死す	球戯場の娘と通じ身分の異るより夫婦になる能はざるを儚みて情死	東京 十九歳の男 十七歳の女	男爵の伜 球戯場の娘
十三日	夫の放蕩を苦にし自殺せんとす	永く連添しも到底末の見込なきをはかなみ大川に飛び込む	東京 三十三歳の女	大工の妻
同日	梅毒に侵されて縊死せんとす	到底全治の見込なきを悲觀し	宮城 二十六歳の女	密淫賣婦

EAST ASIAN LIBRARY

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

十七日	娼妓に迷ひて自殺す	主人と親とに面目なしと硫酸を飲みて	松本市 十九歳の男	
同	夫の放蕩を苦にして轢死す	三歳の子供を背負ひし儘鐵道線路に飛び込みて	橫濱 二十三歳の女	野菜物問屋の妻
同	放蕩の爲自殺せんとす	忠告されしを不服に思ひ	小田原 二十歳の男	藝者屋の息子
同	娼妓に迷ひて自殺	相手の女に情死を迫りしも斷はられ一人心中を遂ぐ	大阪 二十歳の男	職工
二十日	娼妓に迷ひ養父を殺す	養父に屢々金の無心をなしたれどはね附けられ爭ふて殺意を生じ	橫須賀 十九歳の男	馬力業
廿二日	娼妓に迷ひ心中（未遂）		丸龜 二十三歳の男	
同	遊廓に耽溺し私書私印僞造詐欺取財を犯す	吉原に於て遊蕩のため得意先より新聞代二百四十餘圓を横領す	東京 四十歳の男	新聞配達人
同	藝妓を殺害す	馴染の藝者に心中を迫りしも應ぜぬ爲立腹し殺意を生ず	大阪 四十四歳の男	書籍受賣業
同	非倫の結果放火す	二十二歳の養女と通じ居りしが女が他に嫁入りする事となりしより失望し嫁入先の居宅を燒く	栃木 五十七歳の男	
同	己が放蕩より殺人犯を爲す	放蕩の故に末の見込みなしとて情婦に愛想をつかされはねつけられしを怒り遂に女を絞殺す	東京 三十一歳の男	印刷職工
同	結婚前の私通の爲鐵道自殺を爲す	小學校首席訓導と豫て私通し居りし事發覺し新夫に面目なしとて	大阪 二十三歳の女	敎員
廿三日	不義の結果女をして轢死を遂げしむ	己は小學校首席訓導の身にして然も三人の子供ある身なるに同僚の女敎員と關係し前記の始末	四十四歳の男	訓導
同	夫の放蕩を苦にし投身自殺を企つ	夫が情婦に迷ひ外出勝ちなるより遂に厭世し	橫濱 二十歳の女	
同	娼妓に迷ひ情死を遂ぐ		松本市二十四歳の男 二十五歳の女	娼妓
同	不品行を悔悟して轢死を遂ぐ		名古屋市	第三師團の兵士
同	娼妓に迷ひ妻を酌婦に賣飛ばす	子供もあるに不拘妻を賣りて其金を娼妓に入れ上げ知己の店より蒲團卅七枚及衣類を借て入質し發覺して捕へらる		

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廿五日	娼妓に迷ひて情死	不義理の借財に首も廻らず女は又廢業する見込附かざるより	東京 二十八歳の男 二十六歳の女	ボール箱製造業 娼妓
同	遊廓に耽溺して强盜となる	豪遊して娼妓の歡心を買はんが爲め	二十一歳の男	
同	藝者と訓染みて情死	女は前借が拂へず夫婦になれぬを悲觀し	水戸 二十七歳の男 二十二歳の女	仕立職 藝妓
廿六日	己の不身持より妻に殺害さる	僧侶の身にあり乍ら妻は夫に情夫ありとて嫉妬の餘り睡眠中の夫を棍棒にて打ち殺し其罪跡を晦まさんとて家に火を放ち井戸に投じ自殺を計る	大阪 五十七歳の男 五十歳の女	僧侶 僧侶の妻
同	不義の快樂に耽り放火竊盜	情夫に入れ上げんが爲	東京 二十四歳の女	女髮結
廿八日	姦通の結果夫に殺害さる	妻の姦通を憤りて	横濱 四十歳の男 三十歳の女	按摩業
廿九日	男に狂ふて竊盜を働く		千葉 十八歳の女	子守
三十日	姦通の結果自殺	同居人の醫學生と不義せる事顯露し姦夫姦婦情死を遂ぐ	東京 二十三歳の女 三十四歳の男	ブリキ商の妻 醫學生
同	不品行の結果遂に竊盜	中學卒業生でありながら	北海道 二十五歳の男	學生
五月二日	他家の財産を横領して使ひ果す	或寡婦と通じ同家の財産が己が自由になるより	東京 二十六歳の男	
同	財産を横領せらる	子供の如き若き男に迷ふて	五十二歳の女	
三日	藝者に馴染みて情死	十二歳の頃より忠實なる使用人にして主人の信用淺からざりしを何時しか藝者に馴染む	大阪 二十五歳の男 十九歳の女	洋紙問屋雇人
同	放蕩の結果殺人を爲す	放蕩の爲負債し首も廻らぬ始末となり情死を迫りしも巧に避けられし爲無理心中を計り熟睡中の女の心臓を刳り卽死せしむ	大阪 二十六歳の男 十九歳の女	賣藥業賣子 藝妓
同	娼妓に迷ひ女を斬りて切腹	遊興の結果金に不足し自宅に取りにやりしに母親は自身遊廓に出懸け强意見を加へたるより敵娼を陰に呼び隱し持ちたる短刀を以て女に斬りつけ又返す刀を以て我が胸に突き立てゝ切腹す。	神戸 二十一歳の男 十九歳の女	

EAST ASIAN LIBRARY

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

四日	遊廓に耽溺し情死	男は借財の爲、女は稼業を嫌ひとの結果	東京 男三十五歳 女二十四歳	保險會社員
五日	遊興の爲め主人の金拐帶す	吉原稻本樓へ耽溺し千五百圓を拐帶す	東京 四十二歳の男	醬油問屋雇人
同	遊廓に耽溺し自殺を企つ	吉原稻毛樓に登樓不義理の負債を生じ進退谷まり	東京 二十六歳の男	帽子製造會社
七日	遊興の結果酒癖の爲喧嘩を始め生命危篤の負傷	共に手を携へて横濱眞金町遊廓大黑樓に登樓しながら	新潟 二十六歳の男	水夫
九日	情夫を殺害す	妻子もある身にして一度は馴染の藝者を落籍せしが女房との折合惡しく且つ事業に失敗せし爲め再び女を藝者に出せしが女の方よりいや氣さしたるに嫉妬を起し	福井 三十九歳の男 二十九歳の女	
十日	遊廓に耽溺し樓主と娼妓を斬る	大阪松島の貸座敷にて樓主と爭を生じ	和歌山 三十八歳の男	仲仕
同	父の不身持を苦にして姉妹入水す	父が若い時分より放蕩に身を持崩し、諫めても甲斐なきより母は之が爲に悶死せしが父は尙身持を改めず後妻を娶ること七八名にも及びたれど孰れも愛想をつかして出て行く始末に之を苦にし妹と共に一層亡き母の跡を追はんと由井ヶ濱迄行き抱き合ひて入水せしも助けらる	神奈川 十九と十四の娘	
同	遊興がしたさに金塊を盜む	兩人共謀して敵娼の箪笥にありし金塊七匁を盜み、再び同樓に立廻りし處を捕へらる	横濱 三十四歳の男 三十一歳の男	船頭
十一日	娼妓に迷ひ資産を蕩盡し藝妓に馴染み竊盜	元數萬圓の資産ありしも放蕩にて使ひ果し床屋の弟子となり居る內娼妓に迷ひ自殺を圖り後驛夫となり銀行に忍び入り數百圓を盜み藝妓を落籍したるが遂に押へらる	大阪 三十四歳の男	元驛夫
同	妓樓を燒かんとす	所持金を捲上げられ敵娼に振られて	東京 十九歳の男	
同	遊蕩の爲不義理づくめにて自殺未遂	娼妓に入れあげて不義理の借財に首がまはらず鼠取藥を服用し自殺を圖る	東京 二十五歳の男	
十二日	放蕩から有爲な身も持ちくづし名家を荒す	中學卒業後高等商業學校に入學せしが放蕩にて學資が絕え惡心を起し名家に忍入つて數千圓の金品を竊取し淺草の白首に入れあぐ	東京 二十二歳の男	元高商生

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

千圓娼妓の自廢

記者

▲横濱市永樂町金清楼抱娼妓彌生なる者から、本會宛に斯ういふ手紙が來た

今だ御目もじ致さず候處、いよ〳〵御まめやかにゐらせられ目出度存じまいらせ候。さて私事今日のなりゆき・とうり申上候事御きゝとゞけ下され度候。實は私の姉のつれあひは、ハイ病にてこうかのくすりならでわたすからずとの事なりし、又もとよりまづしきうちの事とて、くすりのしろにさしつかへ、さりとて病人をみごろしにもならず、ぎりの兄をたすける心うへにて、人樣もつともいやがる、人間のなすべからざるしようぎとなりたるも、ぎりの兄はすでになくなり候に、又私わいくらかせいでも、せいぎようにつくと云ふ事もならず、いまわ世にすてられたはいぶつごうようの者なれ供、この度或る人樣より御祉の事をうけたまわり、死ぬるとまでかくごをせしが、御多助を受け世にまゝのみとなりて、かゝへぬしへも前借金のいくぶんなりとかへしたくも、今のみわかごのとり同様にていづる事もならず、誠にこまり居り候事御情けに私のまゝになる樣御多助け下され度、其れに病身にわあり、日につらきつとめの死ぬるようつらき事と御さつし一日も早く、くがいより御すくひ下され度、くれくれもねんじ上候、先は人目をひのびひそかに御願ひ申上候。かしこ、(五月六日)

引續いて箭の催促狀が數通來た。何れも涙痕歷々數ふる事の出來さうな氣持のする手紙である。

▲不夜城の夕も更くれば等しく、浮いた〳〵の絃の音にも、終焉の床に呻く人のそれのやうな物悲しい、うらさぶしい、そして恐しい夜の神の息はこんがらかる笑ひさんざめく男女の聲にも、深酷な現實の悲哀な情調が響いて來る。それがまたやがて次第に暈されて幽に〳〵底ひなき神秘の帷の奥に薄れ行く時、仇し男の枕邊に艶やかな大きい髷を顫はして、濕つぽい重苦しい四疊半の空氣を搖り、長襦袢の袖に聲を忍んで、よゝと泣きくづおれてゐる、運命の神に呪はれた弱き女を思ふては、どうしても一掬の涙を灑がざるを得やう。

それに、あゝそれに、世には又踏んで蹴つて、其血を啜り、其肉を喰はんとする豺狼のやうな淺ましい色餓飢が、晝となく夜となく、蟻の甘きに就くが如くに寄せ來つゝある。そして又世には彼等の爲に之を檻に繫いで其呑噬に委せしめんとする惡魔すらあるのである。我等はどうして救ひを求めてゐる毒蛇に捲かれた小羊を、其儘に見遁す事が出來やう。どうして見逭す事が出來やう。

▲本部は直に之を救世軍の婦人救濟係に移牒して、救出す手筈を定めた。何が扨對手は茂林龜と呼ばれた有名な土地の顏役で、殊には去年の十一月松山といふ娼妓を同樓から廢業させたといふ苦い經驗を與へてゐる上。本人といふのが年も若いし、容貌もよく、千圓といふ大枚な金が借してある妓であるから、折衝は頗る困難を極めた。

併し廢業には既にあらゆる辛酸を甞め盡して、孫呉の秘策と、蘇張を驚かす奇警なる咄辯の雄辯とを有つたのみか、信仰といふ大盤石の上に立つた士官は、遂に女を其檻の中より救ふて、茂林の龜を地團駄踏ました顛末は斯うである。

▲五月廿三日救世軍の伊藤大尉は金清樓を訪ふた、丁度モーリンの龜は留守で、松山事件で顏を知り合つてゐる佐々木龜太郎といふ番頭が應接して、「君は宗敎家の癖に、先の松山なんぞのやうに、人なペテンにかけるといふ事があるかッ」といきまき、彌生との面會は彼是れ言ひ爭ふのみで、却て本人に會はせるどころか、形勢頗る不穩と見て取つた士官は、頃合を圖つてさつと引上げ、壽町署に事

情を訴へたから、一警部補は樓主を電話口に呼出さうとしたが留守だといふから、それでは家内に出ろと云ふと、家内は聾で電話口に出られぬ筈といふ不埒な返事、そんなら話の分る者にといふので宮原某といふ番頭が出て、遂に面會させろと云ふ事になつたから、士官は同樓に引返して、家内の前で兎も角も面會する事となつた。家内といふのは三十四五の聾どころか、人並よりもよく聞え、隨分警察を馬鹿にした、威信にも關する事であると云はねばならぬ。

▲士官は本人の廢業の意志を確め、救世軍や廓清會は廢業の專賣權がある譯ではない、廢業するとせぬとは全く娼妓自らの權利である事、何人も之を拒み得ざる事を家内の前で說き聞かせ、本人は堅い決心を以て立上らうとする時、番頭や近所の者共がどや〳〵と入來り、種々と交涉を始めた。主人は丁度川崎の別莊に行つて留守だし、親も遠からぬ市中にゐる事だから、當人が廢業したいと云ふならさせてもやるから、今と云ふ今飛出さなくとも皆で相談づくでいゝではないかと賺し宥めやうとする、いやだと言張るして二時間も經過する、士官は果しがないから私は歸ると立ちかゝれば、いや私も出ますと、娼妓は上草履を穿いたまゝ、身を跳らして表へ飛出した。併し弱き女の悲しさは、忽ち荒くれ男共に引捕へられて、引戻されやうとするので、士官は聲を激まして『警察へ出頭するのを防害すると法律の罪人だぞッ』と大喝し、急を派出所に報じた。

▲巡査は二人やつて來たが、親が來て樓主が歸る迄位待てぬ事はなからうと、樓主に同意を表した。そこで遂に女は奥に引込まれ形勢面白からずと士官は胸を痛め乍ら、其儘坐り込んで樣子如何にと待つた。

▲いくら待つても女は出て來ない、奥では二十七八の番頭風の男が何か頻りと女に話してゐる、當人の處から士官の姿が見へるので、本人の氣が強い處から一番奥の間へ伴ふて行つた。形勢は益々險惡である。暫くすると本人と話してゐた男が、士官の處にやつて來て、『色々に當人と話をしたが、貴下はもう兎に角歸つて呉れとの事である』と云ふ。士官はお前は誰かと聞くと、茲へ賣つた其貸借關係の紹介人だといふ。『それならお前の知つた事ではない、當人から最後の言葉を聞かないうちは歸る譯には行かぬ』と拒絶ると、奥に引込んで今度は八行ばかりの女の手蹟で、思ひ止まるから一先づ歸つて下さいといふ、手紙を持つて來た。士官は嘲笑つて家の中で手紙等の必要はない、當人を强迫して書かせた手紙など見るには及ばぬと受付けない。

▲併し此調子では何時迄經つても六ヶ敷き方法でないと考へた士官は、壽町署に取つて返し、事の成行を述べて、自由の拘束と名簿削除の防害とを起訴せんとしたから、警部補は又電話で、直に娼妓同道出頭しろと命じた。

そこで暫くすると、破落漢か番頭か。若い男が二三人前後を取捲いて本人を引張つて來た。

▲唱妓は警官に向つて廢業の決心を述べろと、警部補は穩和に「もうお前の決心一つでどうにもなるのだから、救世軍の人を歸して如何か」と云ふ。娼妓は身の上を氣遣つて殘つてゐて貰ひたいと云ふ。そこで士官は警部補に向つて「御規則の上から云へば、名簿削除申請に對して防害は出來ぬ。廢業と貸借の關係は全く別だからお前の決心の通りなるのですネ。と二人を等分に見乍ら警部補に念を押すと、警部補は「さうです」と答へたのでもう大丈夫と看破した士官は、本人にもう安心して唯決心を繰返して居ればいゝ、と得心させ番頭共を尻目にかけて引上げた。併し當人の親に逢つて確めて置かないと、樓主に籠絡せられる虞れがあるから、其足で親の同居してゐる、中村某方を尋ねて、實父に逢つた。

そして親の決心一つで、どうにでもなる事、自分一個の利害を打算する事なく娘一生の浮沈安危の岐るゝ處であるから、其心して死ぬ程厭といふ當人の決心に從ひ、後はどうなつても仕方がない當人の意志に任せると、警察でいふ事を忠告し、親も喜んでゐる處へ、例の紹介人がやつて來て、一緒に連れ立つて行つた。

▲士官は横濱同軍小隊に泊り樣子を見しに、削除になつたのは翌日の午前二時で、直に受理すべき明文の規定ある申請が、朝の十一時から、徹夜の騷ぎであつた。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

會報

廓清會總會

五月三十一日午後三時、本郷區春木町中央會堂に於て、左の順序により廓清會總會を開く。

▲第一部：報告會

一、事業報告　二、會計報告

▲第二部　協議會

議　題

一、如何にして速に本會の目的を達し得べきや

二、如何にして本會の財政的基礎を鞏固ならしむべきか

三、會員增加の方法如何

四、會則中理事の定員改正の件

五、役員改選の件

六、大正二年度の計劃如何

▲第三部　懇親會

話　題

一、本會機關誌に關する批評並改良意見

▲第四部　演説會

演題と辯士

司　會　安部磯雄氏

事業上の戰と公娼　森村市左衞門氏

皇室の尊嚴を傷く　山室軍平氏

實績上より公娼制度を排す　油谷治郎七氏

娼妓艶衣自廢事件　西村勘之助氏

北米廓清軍の勝利　井上織夫氏

排日思想の裡面　井上胤文氏

貸座敷業者諸君　益富政助氏

定刻島田會長不在のため安部副會長議長席に就き開會を宣し先づ益富理事は前年度に於ける事業及本會の現況を報告し又山本會計渡米中に付き益富理事より代て別項の決算を報告し第二部に入り逐條熱心に審議討究し、理事の定員を十名に改め、役員の改選をなし本年度事業計畫に就ては、理事會に審議を望む事とし、終りて懇親會を開き談笑の裡に晩餐を共にせり。午後六時半

▲大演説會

を開く、安部副會長開會の辭を述べ、第一席益富政助氏登壇、廓清會の現狀より、社會の漸次此問題に對して覺醒し來りつゝある事を述べ、我等は貸座敷業者を唯徒らに虐めんとする者にあらざる事を詳説し、第二席森村市左衞門氏は温厚なる態度を以て、別項の演説をせられ、極めて眞摯に聽衆を動かす處あり、第三席井上胤文氏は排日問題の裏面に伏在せる事情に就て別項の演説を試みて國民の反省を促し、第四席山室軍平氏は、本誌前號所載の下關先帝祭の暴狀を慨し、更に最近に於ける吉原洲崎其他に於ける自由廢業の事より洲崎の二百五十圓問題に及び、例によつて聽衆の血を沸かし、第五席西村勘之助氏は艶衣事件の辯護せられたる顚末に就て專門の立場より論難して會衆を首肯せしめ、第六席油谷治郎七氏は十三年間海外に在りて此問題を研究せられたる結論として、別項の如き丁抹のコッペンハーゲンの實績を提供し、吾人に百萬の援兵を與へられた、第七席井上織夫氏は北米シアトル市に於いて廓清運動の事情に就き別項の説明をなして吾人の參考に資せられ、大喝采の裡に十時半閉會した。

來會者六百餘名滿員の盛會にて聽衆に多大の感動を與へ、即時に本會の主旨に賛同し入會を申込みたるたる者四十八名に及んだ。尚群馬の森川氏大阪支部等より祝電を受けた。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

▲理事會

六月九日午後七時、本部に於て理事會を開き本年度運動としては、出來得る限り地方開拓に力を注ぎ、可成各地の招待に應じ遊說を試むる事、東京に於ては藝妓問題と三面記事問題を主題とし、秋期に於て二回大演說會を開く事、及び當局者と意見の交換を圖り、研究會には當局者を招待する事等を熱心に參劃し、十一時に垂んとして散會せり。

大正元四十五年度收支計算報告

（自四十五年四月至大正二年三月）

收入之部

贊助員收入	五八三、四六〇円
正會員收入	一、〇七九、〇九〇
雜誌及ツラクト收入	四七、一〇〇
廣告收入	六四、二〇〇
寄附金收入	二六五、三〇〇
現金(前年度越)	一一二、一六五
保證金(同上)	二三、六〇〇
計	二、一七四、九一五

支出之部

雜誌費	一、三一一、〇六五円
編輯費	一四七、八〇〇
印刷製本費	九四一、三九五
發送費	一九八、三九〇
發行費	五、〇〇〇
雜費	一八、四八〇
集會費	一〇一、一〇〇
通信費	六、九五〇
廣告印刷費	三九、二五〇
會場費	一二、六五〇
交通及旅費	一六、七〇〇
謝禮	一四、八五〇
雜費	一〇、七〇〇
事務費	五六四、二四〇
通信費	九九、二〇〇
交通費	六一、四三〇
文具及消耗品費	一四、〇六〇
廣告及印刷費	二九、五八〇
圖書費	四、二五〇
旅費	三、〇〇〇
俸給及諸給	三四五、〇〇〇
雜費	七、七二〇
出版費	一四八、七二〇
廓清叢書出版	四七、七〇〇
グ氏著述出版	一〇一、〇二〇
現金(大正二年度へ)	二六、一九〇
保證金(前年度支出)	二三、六〇〇
計	二、一七四、九一五

財產目錄

現金在高	二六、一九〇
保證金	二三、六〇〇
備品	二二、五五〇
グレゴリー氏著述	七五、〇〇〇
廓清叢書	二五、〇〇〇
計	一七二、三四〇

『櫻家庭寮』の設立

本會贊助員粟屋榮子姉は、諸名士の贊助を得、久留島武彥氏を顧問として、牛込區北山伏町二番地に『櫻家庭寮』なるものを設立し、尋常四年以上中學程度の少年を收容し（但同寮出身者は中學卒業後も引續き寄宿を許す）家庭に代つて養護の任に當られるさうである。

「職業との關係が子弟を同居せしむるに有利ならざる事あり、土地の狀況が子弟に甚しき惡感化を與ふる事あり、或は多忙は子弟を疎外して無智の使用人の手に委ぬるの外なきに至らしむる等、子弟敎育上寒心すべき事情、尠少ならず、云々」

といふのが其趣意である。中流社會から不良少年が盛んに出で、而もその罪が家庭に座するのを思ふならば蓋し此企ては、最も時代に適應したものであると云はねばならぬ。

吾人は此種の企てが、廓清運動の上にもやがて好影響の來るべきことを信じ、之を祝するものである。

名古屋運動の記

名古屋市に於ける廓清運動の計畫は名古屋遊廓火災當時から起つた事であつたのみならず愛知縣は由來藝娼妓の本場と云はれて居る位で、火災なくとも是非廓清運動は必要なのである。で、當時彼の地基督敎會の重立ちたる人々の間には、度々相談があつて、廓清會本部とも交渉し先づ第一に盛大なる演說會を開かんとしたが、色々の差障りのためつひ實行が延引してしまつた。

併しながら此の計畫については松井知事、東園警務部長など大に同情せられ、寧ろ先方より「是非行つて貰ひ度い」と云つたやうな態度で、吾々大に心を強くした。そして縣廳の好意で、縣會議事堂を會場に當て、大にやる筈にきまつた。それも、問題が問題だけに、若しや縣會議員の中に反對者でもあつてはとの懸念から態々縣參事會まで開かれた。ところが滿場一致で貸して差支はないといふことになつた位で、吾等は玆に百萬の援兵を得たるよりも勇氣付けられたのである

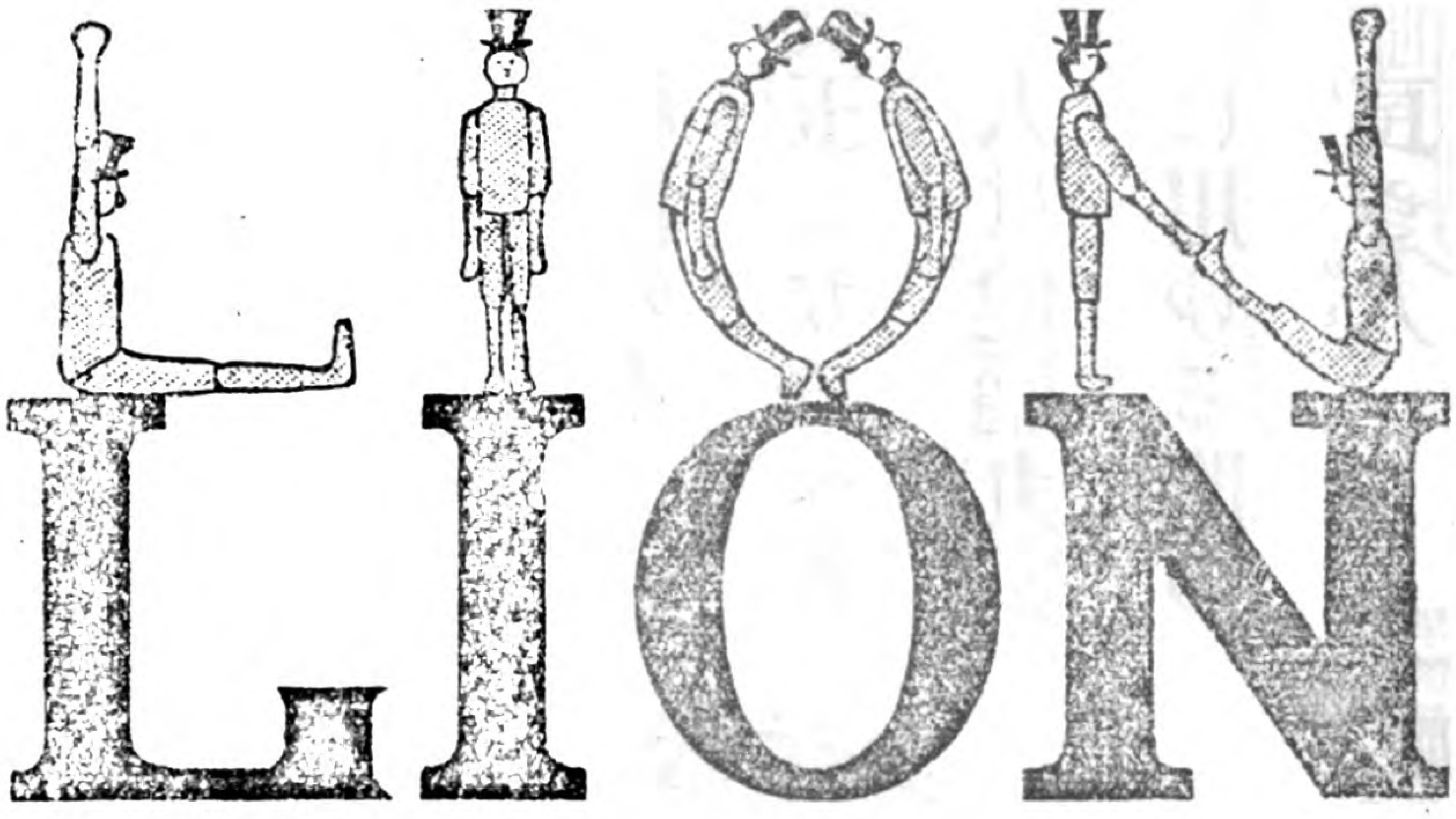
斯の如くにして愈々開會といふ間際になつて、又々我々の側の都合で延期となり、漸く五月十六日になつて愈々開催といふことになつたために、遺憾な事には其日は議事堂が徵兵檢査のため差支を生じ議事堂を會場とすることだけは出來なかつた。が、併し東園部長はこれを非常に氣の毒に思はれ、矢張縣廳の建物である商品陳列館をば會場に充つべくいろいろ斡旋の勞を取られた。該館は實に堂々たる華麗な建物で、實際の處東京人も大に目を驚かされた位である。

而して豫定の如く五月十六日そこで開く事になつて、先づ開澤委員長開會の辭を述べ、近藤牧師廓清運動の必要を說き次いで益富政助氏及林歌子女史の演說があつて最後に山室大佐の演說があつた。集るもの約七百名、それこそ滿場立錐の餘地もなかつた。而して新らたに會員を募集したが速座に申込んだものが五十人もあつた。

殊に今度の演說會に就て感じた事は、一體名古屋の地は先にも云つた通り、藝娼妓の本場といはれて居る位であるから定めし反對者も多いことであらうと思つて居た、又委員諸氏も必ず會場に於て騷擾が起るであらうと豫期して居たに、騷ぐものは勿論、座を立つものすらなく、實に水を打つたやうな靜かさであつた。吾々この現象には少なからず驚かされたのである。而かも會場の十間も向は遊廓に接して居て遊廓の人々も聽衆の中に大分あつたが、それでも何等の騷ぎを仕出し得ないのは、集會のアトモスファヤが廓清主で充ちて居て、丸で敵軍に捕虜にされて居るやうな感じを持ち、反抗の擧を擧げ得る者がなかつたのであらう。

思ひ起す二十年の昔、初めて名古屋の地に自由廢業が起つた時、宣敎師モルフイー氏の如きは遊廓に行き一人の娼妓を救はんがために前後左右に暴徒が群り立ち、或は棍棒を以て打つてかゝり、或は刀を拔いて切りかゝり洋服がツタ〳〵になり、血だらけになつて宅に引上げられたが、其時奥さんはこれを見て絶息せられたこと今だに吾々の記憶に鮮かな事である。さう云ふ時代を回顧して、今同地に於る廓清運動の誕生日に於て、斯くの如き靜肅を以て出立する事の出來たのは時勢の進步轉た感慨に堪へぬ次第であると共に、我徒の將來に大なる光明を與へられ愉快此上もなき次第である。（益富生）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY



始終神様に近づいて
清い心を持った者に
何の悪魔が
誘惑の手を擴げましよう。
朝夕**ライオン歯磨**を使って
美しい歯を具へた口から
何て病の黴菌が入り込みましよう。

◉**ライオン歯磨大袋入**は中味が多いから大勢の御家庭用には至極御徳用です

發賣元 東京 大阪 名古屋 小林富次郎

藁屑となりて送るな世の中を
寶玉の如く送れ世の人
寶玉となるべき
人は健腦丸常
に用ゆる腦の
良き人

島村醫學博士
有効證明

島村博士證明
健腦丸
TRADE MARK
KENNOGWAN

最良なる
腦病神經病新薬

主効

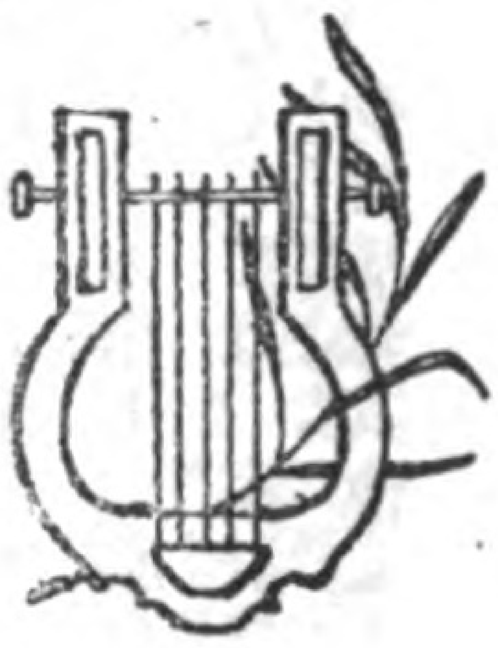
腦病 腦充血
腦膜炎 神經痛
腦貧血 眩暈
便秘 中風
耳鳴 健忘
搐搦 頭痛
卒中 逆上

●健腦丸を常に少量づゝ持薬とせば逆上を引下げ、便通を心能くし、恐るべき腦充血を全治し、中風、卒中を未發に防ぎ記憶力を増進する特効あり

藥價 一日分十錢、三日分廿錢、七日分四十五錢、二週分八十五錢、五週分二圓

本舗
大阪市心齋橋貳丁目 丹平商會本店
東京市日本橋區箔屋町 丹平商會支店

EAST ASIAN LIBRARY
Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY



家計費の話

早稲田大學教授
法學博士　鹽澤昌貞

家計費は一家の生活費

私の研究致して居る學問は、經濟學と申しまして、國家の經費、財政について、如何にせばよきやと云ふ事を、研究するのであります。それで私は個人としては、一家の家政には、無頓着で、内の者に任かせて置きますから、實際の家計費については、不案内であります。諸君が、家計費について、どういふ風にしたらば、實際上よいかといふお尋ねに遇つては、私には、滿足の御話は出來ません。そこで、私は家計費は、學問上で、如何なる意味であるかを御話し致しますから、皆さんは、是に依つて、實際上、どうしたらよいかと、云ふ事を考へて戴きたい。

衣食住の費用の割當

家計費とは、一口に云へば、一家の生活の費用である。即ち一定の收入に對して、是を如何に費してゆけば、暮しゆかれるかと云ふ事である。

例へば、一ケ月の收入、三十圓の人がある、此三十圓を、どう費ふかと云へば、先第一に衣食住、即ち食物、着物、住宅費、それから薪炭油、衛生費、折々は寄席、芝居、義太夫とかの娯樂費用、子供の教育費等にも相當に費やす、それから、租税其他の税金にも多少出すから、家計費を別けると數かぎりがないが、大抵にしておいて、自分の收入を一家の食物にいくら、着物にいくら、住宅にいくらと云ふ風に、割當て、家計費を明かにする事は、家政上必要である。

經濟學の研究も、一家の經濟を明かにする事も、一家の幸福、國民の幸福、社會全體の幸福を增す上について、必要の事である。一家の家計狀態の事から考へれば、社會全般に對する道が、考へられます。一家の家計狀態によつて、一家の有樣、其人の人格、家庭の有樣等が、よくわかる者である。家庭の整理は一家の上のみならず、一國全體の上からも、必要の事である、殊に物價騰貴の今日我々日本人は、生活上非常なる打撃を受けた。物價騰貴は、種々なる原因があるけれども、近年に於ける米價騰貴は、大なる原因である、物價騰貴は、世界を通じての重大問題であります。

物價騰貴の原因は何ぞ

世界に於ける、物價騰貴の原因は、金の產出額增加の爲である、金の材料即ち金の產出增加の爲に、金の價格が安くなつた。今より十七八年前以來金の產出が非常に增加した。それが爲に、物が高くなつて、金が安くなつたのである。

又品物にいろ〳〵の税をかけるから、物價が騰貴した。世界各國で税を餘計にかける樣になつたのは、軍備擴張の爲である。歐羅巴でも、亞米利加でも其原因は、通じて軍備擴張に因る税金の增加が、物價の騰貴を來たしたのである。此外日本には、外國にない物價騰貴の原因がある。それが爲世界中にて、日本が、一番生活の問題で、困難を感じて居る。生計費の調査をして、生活困難の原因を知る事は、日本に於ては、最必要の事であります。英國は、富んで居る國であるが、それでも、近頃は、生活困難を感じて居

るから、日本の生活困難は、無理もない。然し乍ら、日本の政府では、生計費の調査をして居ないから、生活の困難なる、原因を知る事が、出來ない。從つて生活困難を救濟する事は出來ないのである。最近英、米、獨、佛、白耳義の五ヶ國では、生計狀態の取調べをして居る。

一定の所得と生計の標準

家計費は、一定の所得に對して、生計の標準を第一に定める事が、必要である。此標準は、國により、階級によつて、相違はあるが、一定の收入に對して、生計費の標準が定めてあれば、それによつて、生計費の過不足が、わかる、生計費の不足がわかれば、其不足だけを、補ふ考を持つ樣になつて、工夫をするから、生計費の標準を立てると云ふ事は、一家の經濟上、大切な事であります。故に、一定の收入に對して、食物、着物、住宅、衞生的の設備、敎育費、娛樂費等の標準を立てゝ尙病氣其他、不時の災厄に對しての用意をする事も、必要であります。此標準なくしては、家計費の過不足はわからず、勿論病氣其他、不時の災厄に對する用意は、出來ない。

此困難を救濟するには、如何にすればよいか、其方法を見出す上に於て、生計費の調査は、最も大切の事である。是は世界に於ける最大切の問題であります。

生活難を救濟する方法

そこで、是は個人でも、政府でも、公共團體でも、やらなければならぬ事で、生計費についての調査が、出來れば、其生活の困難を、救濟する事が、出來ると、私は思ひます。此處に、一人の人あり、壯健にて、每日働いて居る、なほ生活困難なる人がある、然らば、此人は如何なる理由で、困つて居るか、遊興をして困るか、每日働いて、正當の生活をして、困るとすれば、何か家計上不完全の點があるか、物價騰貴の爲に困つて居るのか、或は收入少なき爲であるか、斯の如き事に就ては、日本政府では、調査してない爲に、國民が只今、生活困難の狀態にある事を、知りながらも、其救濟方法に困つて居る。そこで、家計費の調査研究は、生活困難救濟の爲に、最必要な問題であると、私は思ひます。

先づ以て虛禮を廢すべし

日本では、衣服の費用を、食料費よりも、餘分につかふのが、一般の樣である。是は、虛榮心の爲に、人に見られる爲に、着飾るからだと思ふ。食物は、家の內で食べて居るから、人に見られる事はない、澤庵漬や、味噌ばかりで、食べて居てもわからぬが、着物は、人に晒して見せる物であるから、着飾るのであらう。

それから、日本では、社會上の種々なる習慣の爲に生活の上に、大なる壓迫を加へて居やしないかと、私は思ふ。普通一般に盆、暮其他贈物の取りやりをし合ふ事が、多い樣である。香奠とか、祝儀とか、凡て人の喜び事や、悲しみ事を、共に喜び、共に悲しむと云ふ事は、よい事であるが、日本では、凡てが、虛禮になつて居る樣である。贈物に對して、返禮をする事は、虛禮であると私は思ふ。婚禮でも、何でも、それに對して、返禮をしなければ、惡口を云ふ、それでは、返禮を貰ふ爲に、贈物をする事になつて、贈物本來の意味に叶つて居ないと思ふ。

（第十四回統一敎會通俗講話講演、文責在記者）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

嬰兒の育て方

婦人記者

○嬰兒の衣服

生れて初めて衣服を着せる時は、第一に臍の緒の垂れぬやう、又附紐を堅く締めぬやうに注意する樣にしたい。つけ紐の附方は二ケ所にし、一は上前の通常の所、一は下前の左の縫目の所にすれば誠に裕りして宜しう御座います。若筒袖の着物を着するならば出來るだけ廣く手を自由に動かさるゝ樣にし、肉體の發達を妨げぬ樣にせねばなりません。近頃小兒に厚着をさするは皮膚を弱くするといふ說より、薄着にするものがありますが、生れて間もなき小兒には却つて感冒をひかせ、氣管支加答兒又は氣管支肺炎などに罹ることがありますから、冬期に生れた小兒は、凡そ三ケ月位戶外に出さず、厚着にする方が危險が少いのであります。そして衣服の內一枚は是非フランネルの如き動物製の衣服を加ふる樣に致したい又厚着がよいと申しても、餘り附紐澤山にて堅く胸部を縛るが如きは宜しくありません。

○嬰兒の居室と運動

生れて一ケ月位は頭重き爲に之を抱いても、餘り動すことは宜しくない。座敷を換へる事さへ考へ物で、少し抱動かして乳汁を吐かせることがありましては愈々宜しくありません。母の胎內にありました時は眼を閉ぢて少しも光線に觸れず急に世の中に出でたるなれば、生れた當座七夜迄位は薄暗き室に置く方が宜しいさもなければ結膜加答兒に罹りて眼脂などが出ることがあります。居室を選むは先づ空氣の流通する所を善しと致します溫かき狹き室より急に廣き冷たき所に出し、或は外にあつて寒冷に觸れたる身體を急に暖かき室に入るゝ如きは、感冒の種を蒔くものであります。若小兒が非常に運動し又は涕泣して身體より發汗する場合は直ちに乾きたる布巾にて其汗の蒸發せざる中に拭取るが宜しい。嬰兒が始めて外出するは日本では三十日經ちて宮詣り時を始めとして居りますが、是が偶然にも歐洲の例と同じであります。然し其時間に就ては天氣の善い日の午前十時より午後三時迄の間を宜しいと致します

○玩具の選方

嬰兒がだん〳〵成長して來ますと、玩具が要ります。玩具は小兒を喜ばせ、一は心情をよくし、一は智識を發達せしむるものでありますから、其の選擇の大切なることは申す迄もない事であります。先づ玩具は種々の色彩を施してありますが此の染料は大抵幾らかの毒を含んで居り爲に之を口にして腸胃病を起すこともあります。其毒ある繪具の主なる者は黃色で砒素を用ひたる者、金色で錫に他の同色の者を混じたるもの、銅箔、銀色にする爲に鉛を用ひたるもの、エンタンを用ひたる赤色、ロクショウを用ひた青色等であります。故に成るべく以上の色彩を

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

施した物は用ひぬが宜しい。そして太鼓、槌、目鏡、達磨、獨樂、肉色のいゝおしやぶりなどが宜しい。其他白木に墨や紅にて少しづゝ彩色し、瀬戸物に色を焼付けたる物、上等のゴム製の犬、人形などが宜しいので御座います。金屬、硝子製のもので破れ易きものは總て創傷の危險が多い故乳母子守などによく注意して、用ひぬ方が安全であります。弄びて直ぐに破壞する玩具は、假ひ危險なきものでも、一は幼兒が樂まんとする心を失望せしめ一は薄志弱行の手本を示すが如きものでありますから、成るべく木製、ゴム製等にて打ちても叩きても潰れ壞れざるものを選ぶことが必要である。そして其形狀の野卑なるもの、不道德の意味を含める物は宜しからず、配色は單色より次第に他の色彩を覺えしむる樣にするのが肝腎であります。音に就ては、騷々しき耳障りする如き物は避けねばなりません。故に始めは太鼓の如く音響鈍くして太く、耳さわり柔かなるものを善とする

又玩具は目新しき物、及び毬の如く轉ばしても遊戲となり、打ちても跳返りて面白味を感ずるが如き玩具は、興味深きと共に幼兒の運動にも、又其智識を誘ふ上にも有益であります。幼兒が追々成長して自ら工夫して組合せ一の形狀を作り得る玩具、例へば『積み木』などは將來必要なる想像力を養成する上に利益があり又幼兒自身が無念無想に樂しむに於て高尚なる心事を培養する基となるのであります。

時代は進めり矣
中學世界の懸賞

萬國婦人矯風會の希望により雜誌「中學世界」は左の如き論文を募集せり風教問題に關して有力なる雜誌が斯くの如き援助を與ふるに至りしは社會のため大に慶賀すべき事なり、試みに其廣告全文を左に揭げん

萬國婦人矯風會は曩に其日本特派員、レース、フランセス、デビス孃を通じて、禁酒論文募集を委托し來り、本誌はこの小さき舞臺が世界的事業のために有益に使用せらるゝを光榮とし、これを實行し豫想以上の好果を收めたるが、同會本部は今回更に第三回の懸賞論文募集を委托し來りたり本誌は其企圖を歡迎し茲に懸賞論文募集を開始す募集規程左の如し

論題(1)喫煙の風習と國民の健康＝Smoking and National Health.
(2)喫煙と現代學生々活＝Smoking and Students' Life.
禁酒禁煙と業務成蹟＝Total Abstinence and Business Efficiency

分量—二千字以上三千字以內
賞金—一等(一名)金拾圓、二等(二名)五圓宛、三等(三名)三圓宛
募集期間—大正二年五月一日より六月二十日迄
結果發表—八月一日發行の中學世界紙上に於て
應募資格—應募者は日本全國官公私立中學校生徒に限る
選者—次號に於て發表す
雜則—(イ)原稿は四百字を以て一枚とし一行二十字詰二十行、用紙は半紙又は原稿紙、(ロ)應募原稿には住所、姓名、並に在學校名を明記すべし、(ハ)應募原稿文體は隨意、假名は平假名を用ひ、句點を附すべし(二)應募原稿は博文館中學世界編輯部宛に發送すべし、封筒には「應募論文」と明記すべし

○小兒に金錢を持たせるな

小兒に金錢を與へる事の可否は數年以前より種々議論がありましたが、餘り小さい內より自ら金錢を持たしめ、其で自由に物を買はしむる事、殊に食物を買つて喰べさせる事は、小兒の品性上甚だ賤しき傾向を生じますから、先金錢は與へぬが宜しいので御座います。玩具を買ふにしても玩具店に連れて往つて、小兒の欲しがる物を買ひ與へるは、小兒の自由を尊重する樣であつても甚だ宜しくない事であります。食物でも玩具でも必ず家內の人が買つて來て置いて、之を與へる樣にせねばなりません。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

社會

社會の研究

◉結婚式の變遷

▲永島婚禮會

社會の組織が複雜になつて來る生存競爭は激しくなる、之れに反比例して古式習慣等が打毀されて來るのは自然の勢である。我が國の婚禮式の如きも然うだ嘗つて出雲國は月下氷人の神の子孫たる千家男がまだ全盛時代に、市内に一つ大きな公會堂を建てて此處を以て結婚式場に宛てやうと云ふ計畫があつたが、男の不運から延いて一切中絶された。其の後起つたのが日比谷太神宮に於ける神宮奉齋會式、それから麻布區材木町の大社教分祠、其他の大社教出張所などである。是れ結婚は神聖のもので神明に誓つて大道を踏み、五倫の教に適つた夫婦の行爲を行ふと云ふ精神から出だのである。爾來此二ケ所とも神道式に衣冠の神職教師立會つて、簡便の裡自ら莊嚴を極むると云ふので大分流行つて來た。然るに此等は神祠に出張して(耶蘇教徒が教會に行く樣に)式を擧げるのであるから、往復の車馬代其他で非常の費用を要するに事となる、寧ろ同じ精神ならば從來の如く家庭に於て式を擧げると同時に、其家庭に神明をお招き申して其神前で、擧式した方が一層便利で殊に一家の祖先に對しても家族主義の日本に於ては最も適當であると云ふので、起つたのが麻布飯倉の永島婚禮會である。同會は去る四十三年から起り順次發達したので、婚禮を行ふ家の招聘に應じて奉告祭其の他の一切の式作法を引受ける。祭官には毎時西久保八幡の吉田社司が出張する其の式は先づ家の母屋に祭場を設ける、正面には松方侯が金婚式の時に殊に書いて呉れた短册二神の御神號を掲げ、中央の神籬には產土神を奉招する。そして祭官の降神式獻饌奉告式があり、媒酌人の誓辭捧讀があり、酌人には容貌麗はしい處女二人が白衣に緋の袴を穿いて式三獻の三寳を捧げたり、長柄銚子加へ銚子を持運んだりする。却々にに優雅莊重を極める、何樣神祠まで出張する必要が無いので頗る家庭的で昨今申込が多い。つひ先頃も大山公爵、松本中將、鮫島大將、花房子爵等の上流家庭にも招かれ、海軍軍人の結婚式には大抵水交社で同會の司會で行はれると云ふ。是れ亦結婚形式の一進步と云ふべきである(二六新聞)

◉活動寫眞

▲漸く新しき傾向を生ず

淺草公園と市内各所に散在する活動寫眞館とは其觀客の種を異にしてる丈に撮影畫も從て違つて居た。淺草の寫眞館が飽迄通俗、卑賤を主として比較的中以下の階級の人を集めんとするに反し、市内のものは可成高尚な家庭向のものを以て兒童を呼ぶとにして居たのであつたが、**近來になつて此傾向は逆になつて來た**。即ち市内の寫眞館が殊更に卑俗なものを見するに反して、淺草では西洋物も寧ろ高尚なものが受けるやうな事になつた。之は市内の寫眞館の多くが淺草の御古を頂戴する結果からであるが、其一面には市内の觀客の趣味の墮落が大なる原因をなしてゐるのであらう。

▲籤引のフヒルム　活動寫眞のトラストが出來てから後の公園の各館は從來の如き競爭を廢してしまつたが併し各館共に成績に依つて賞與が行はるゝのであるから自然演物に向つて競爭的弊合が行はれ出した。之が爲め會社では止むなく抽籤と云ふことにして期日々々に毎館の主任を呼んで籤を引せて其籤に當つたら厭が應でも其演物で我慢をせねばならぬやうにした。目下電氣館のサタンの如きも電氣館の主任が此サタンを引いた時は此寫眞が横濱で散々味噌を附けたことを聞いてるので大に迷惑したさうであるが併し之も天運と斷念めて行つて見ると意外の好況に館の方では今更に人氣と云ふものが何處にあるかに就いて驚いてるさうである。

▲御客の眼が慣た　淺草で目下評判になつてるのは前記のサタン、嚴窟王、マルテー、大成功等で何れもバタ臭いものである殊に先頃の天路歷程の如き純然たる耶蘇教の小說であつたに拘らず可なり受たのは一は歡客の智識が進步した爲ではあるが一方から言へば從來の比較的製造費のかゝらぬ日本物の拙劣と同型とに飽たのと、次第に觀客が活動寫眞を見る眼が肥えて來た結果で彼等活動寫眞を見慣れた客の眼には是等の時代遲れの幼稚な撮影には滿足が出來なくなつた。之が公園活動寫眞の刺激になつた原因で之に反して市内の活動館では久しい間西洋物を主としたが近頃は觀客が一般に卑しくなつて淺草に遊びに行くには其

閑暇と金とない連中が集るやうになつたので昔日の公園流行な此の市内の各館に逆に見ることになつたのである(中央)

◉驚くべき蠻風

▲婦人を惨殺して其肉を喰ふ

本年三月中旬頃の事である。肥前國有田在なる栗野峠の麓に、腰掛茶屋を營み居れる某家の花嫁なる者、その夫と仲悪しく數日前の深更、夫婦喧嘩を爲して家を出で、同峠の下り坂に差蒐りたる折しも、突然傍の藪疊より四人の暴漢現はれて、物をも言はず右の花嫁を引擔ぎて附近なる炭焼小屋に至り散々に辱めたる後、無慘にも殺害したるのみか、頰と股の肉とを強かに殺取りて鬼畜に等しくも、其肉を肴と爲し、焚火をして飲み明かした。扨翌朝に至り、折柄同所を通行したる馬車を拉し來りて、右の人肉を狸の肉と詐り食はせしめ、馬子も酒に目晦みて馳走になつたが流石に心地悪くなつて、口を嗽がんと谷川に下り、今や水を掬はんとして傍を見たるに、這は如何に岩角石道に鮮血滴り、前記惨殺されたる花嫁の屍骸が藻に蔽はれ横たはつて居たのである。之を見るより件の馬子、腰を抜かさんばかりに仰天し、小荷駄馬も何も打捨てゝ一目散に其場を逃げ延び、最寄りの駐在所に斯くと急報した。駐在所では時を移さず數名の警官現場に駆付けたるも、時既に四名の暴漢は何處にか逃走して姿も形も見えなかつた。所轄佐賀縣警察部にては爾來夜を日に繼いで犯人の行方を秘密の裡に搜探中との事であつたが其後どうなつたか未だ後報に接せぬ。(朝日新聞に依る)

◉自殺者

▲何時に多きか、何處に多きか

▲品川の蛇窪　品川町全體荏原郡一圓に於ける毎年の自殺者は四十三年度に百二十九人四十四年度に百二十二人大正元年度に百十九人あつた、從來毎年百名内外の人命がこの郡の全體に於て失はるゝ勘定で統計に就て見ても古老に聞いて見ても年を閲し郡の全體が益々發展するに連れて減少しつゝあるのは事實である、品川警察署に於ては此恐るべき現象に鑑み巡査を督勵して自殺者に就き嚴重なる取締をなした結果昨年中に救助した人員丈でも七十二名あつた。偖之等の人が自殺する場所だが一は有名なる品川蛇窪の踏切で一は碑文谷道の踏切である、此二個所が東京府下唯一の死場所であつたと云つても差閊あるまい。其他御殿山の鐵橋下、大井の水神下、入新井の大森停車場から南へ約三丁距つたレールの上及び六郷川の堤防には悉く轢死者のある處で、溺死の方は羽田の鈴木新田六郷川及び鈴ケ森の沿岸である。

▲四五月に多し　妙な事には例へば今日蛇窪の踏切に轢死があつたとすれば其翌日新聞に其の記事が出ると必らず二日間以内に同じ場所に同じ死方をする者が出て來る。毎年四月から十月迄の間は溺死が多く木枯吹く十一月の末から翌年三月迄の間は轢死が非常に多いのだ。中でも最も澤山あつた月は四十三年の五月で總計十八名九月に十四名、四月に十三名、六月に九名、七月に八名あつた。どうしても人の心の浮立ち春風輕く胸を唆る四五月が最も自殺者が多い月であつて、春先は狂氣と自殺者が激増するのは爭はれぬ事實だ。以上は品川方面に於ける自殺者の大體を示したものだが、其中にも蛇窪と碑文谷が八分通りを占めて居る、蛇窪は最も淋しい場所で小笹熊笹生茂り最後の場所としては如何にも無類に出來上つて居たが、昨今鐵道院が擴張工事を始めて居る爲め、線路工夫の出入繁く日夜間斷無く巡視をして居るので非常に減少しつゝあるので昨今は場所が變つて大井、入新井方面に自殺者が多いのである。此の自殺をする原因に就ては無論千差萬別ではあるが、然し其筋の調査に依れば大抵九分通りまで金を費消した結果か又は生活難の爲から來て居る痴情の果も大分あるが情死の方は九分九厘まで遺書があるやうだ(中央)

◉惡桂庵

▲妙齢の處女を誘惑して墮落せしむ

近來市内至る處に女中不足の聲を聞き、何處の桂庵に依頼しても早速是を雇入れるに由なき有様なるが、其筋の調査に依れば地方より奉公口を求めて上京し來る女は、前年に比較して少しも減少し居らざるに、其間何が秘密の伏在するに非ずやと過般來調査、中の處其結果市中に散在しある惡桂庵が互に氣脈を通じて地方出の女を誘惑しゐることが其一大原因なること判明せるより、警視廳にては刑事を八方に出動せしむ、惡桂庵の大検擧に着手した。これより先き警視廳長谷川第二部長はこれ等惡桂庵の奸計恐るべきもののあるに依り、發見次第直にこれを検擧すると共に營業停止を命ずべきことを訓令しつゝありしが桂庵の中には鑑札を受け居らざる所謂モグリ業者多く、其多くは惡桂庵の手下となりて立働き只單に目指す桂庵を検擧せる丈けにては其枝を截りて根を絶つ能はざるものがある。で市内各署にてはこれを根本的に検擧すべく密々歐々であつあつたが今回警視廳の活動と共に歩調を一にして奔走せる末去る三月中惡桂庵の元締とも云ふべき淺草區諏訪町二三山田辰五郎(四六)及びこれと相結びて尤も勢力あるモグリ桂庵同區聖天横町三和田お留(三五)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の兩人を取押へ、取調で見たが、辰五郎お留等がこれ迄共謀して地方出の女を誘拐同様の手段で墮落せしめた其數實に數十名に上り、例へば埼玉縣生れ山崎お兼(一八)が女中奉公を依頼し來れるを、巧に其**都馴れぬ女心を操り、女中の賤しき業をするよりは、料理屋か銘酒屋に住込めば仕事が樂で金が儲かると甘口に乘せ**て誘惑し、群馬縣某地の酌婦に賣飛し、又間もなく千葉縣行徳町字新地養藏二女岩崎お芳(一六)も同様手段を以て木更津へ酌婦に賣飛し、其の前借金の大部分は悉く兩人で着服し、兩女には僅少の小使錢を與ふるのみなる上、一個所に住込ませる丈けにては餘り金儲けにならぬ故、其後數個所に鞍替せしめ、其都度非道の金を貪て居た。而も辰五郎は東京に奉公するには保證人を要する故、何れもお留の妹分として住込ませお芳は其等の毒手に弄ばれて遂に淺草公園六區六六銘酒店花の家方に住込んで居たものをお芳の行方不明なるを尋ねて上京した父養藏が市内各署に搜索願ひを出して漸やく探し當て、其結果辰五郎とお留の毒手に陷れることと判明し、これが手蔓となつて兩人を檢擧するに至つたのである。**彼等は又獨り田舍出の女のみならず**本所の紡績女工を誘惑せること又實に數十名に上り連累者亦頗る多し(報知)

◉精神病と酒

▲精神病は政治家と藝娼妓は多し

巣鴨病院の齋藤醫學士の談によれば『精神病患者は體温と同じ温度の湯の中に入れて**置くと神經が整調されるので亂暴をしなくなる**。外國で精神病患者の最も**多い職業は軍人である**。日本の軍人は外國のよりは品**行が良い**と見えて比較的に精神病者が尠い、先づ政治家、相場師、女では藝娼妓に多い。それと云ふのも酒**色に近づく機會が多いからであらう**。**酒を飲んだ後に姙娠した兒には白痴や癲癇性のものが多いと云ふのを見ても、如何に酒と女が**精神病の主なる原因を有して**ゐるか**ゞ分る。民族中で精神病に罹り易く、一番鋭い神經を持つてゐるのはユダヤ人で、多く健全狀態でゐるのはエヂプト人である。日本人は目下の所可もなく不可もなき位だが、維新後海外の文物が輸入されて内外の生活狀態が激變を起したから、こゝ一二代は最も注意す可き時代ではあるまいかと思ふ。一體に忙しい生活は好くない。アメリカ特有と稱してもよい彼のレールウエイスパン即ち汽車の乘客が其の列車が衝突した時別に負傷も何もしないでゐて精神狀態に異狀を來すといふのがあるが、之れなども要するに餘り忙激な生活の爲めに過勞してゐる結果ではないかと思ふ云々(讀賣)

◉軍人の墮落

▲步兵中佐萬引を働く

帝國軍人が、戰勝の餘威を驅つて專横を極めつゝあることは、昨今我が國民の漸く自覺し來れる處であるが殊に軍人の師表たるべき將校にして、尙且腐敗墮落の實例尠からず、面に白粉を粧ひ、軍服の裏にコルセットを裝置して、宛然婦女子の態を學ぶ青年士官もあれば、電車の中にて隣席の女學生に艷書を送りたるなどもあるとの事。更に不良少年の上手を越え、女學校に虚僞の電話を掛けて、狙ひを付けたる女學生を誘き出さむとして失敗し、散々に詫び入りたる士官もあり甚だしきは彼の海軍機關大尉にして强盜强姦の大罪を犯せる、某要塞勤務の砲兵少尉が湯屋の板の間稼ぎを働きて捕へられたる等もある。現に本年三月廿七日の如きも、豫備步兵中尉にして從七位功五級を有する〇〇〇〇(四〇)が上野停車場内の待合室に於て田舍漢の洋傘を掠渡ひて、警官の手に捕へられ說諭の上放還せられたることもある。かと思ふと更により以上の高級軍人が、同じく破廉恥罪の爲に拘引せられたる事實を聞込んだ。上野署に於ては何故か中尉の事件のみを發表して、此件を暗默の裡に葬らんとせるも、事實は遂に蔽ふべからず、更に精探の步を進めし結果、此軍人は愛知縣人にして目下府下荏原郡南品川字東廣町〇〇方に同居せる後備陸軍步兵中佐從五位勳四等〇〇〇〇(五五)と云ひ、同日午後上野廣小路いとう松坂屋に入りて、此處彼處と店内の吳服物を巡覽する内、店員の隙を窺ひ七八圓の米琉一反を、二重廻の羽根の下に隱したるを、チラリと見たる同店の番頭は、直ちに之を咎めたるに「紳士に對して無禮な言を云ふな」と叱りつけたるも、押問答の内に小脇に抱へたる反物がだらりとブラ下りたるより、有無を云はさず警官に引渡された。從五位の上長官が出來心で泥棒するなどは奇怪千萬の事で孰れにしても軍人の墮落は意想の外にある。(報知新聞による)

◉巡査の報酬

▲氣の毒なる手當

本年二三月の頃東京に連日連夜出火續發、放火頻々たりし頃警視廳にては、三月管下八十三ヶ署の總員出動大警戒を爲し、其寧空しからず大に效果を奏した事がある。即ち二夜の總員活動は云ふ迄もなく各署の非番巡査全部が出動勤務したる譯であるが此の市民が大切なる生命財產の保護に任じたる巡査は、如何なる過度の勤務に對し如何なる手當を受け居るや、是に對して酬ゆ可き巡査の手當は實に氣の毒千萬眞に同情に堪へざるものがある。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

警視廳第一部警務課柳田課長の語る所によれば「あの晩の非番勤務は殆んど休憩時間すらなく、無論一睡も眠る處ではない。何にしろ二晩續けの非番勤務で却々過勞い勤めであるが。今回の様な大警戒の場合の巡査の手當は非番勤務で四時間以上は十五錢、八時間以上は二十錢、十二時間以上は二十五錢の割である。其れから他に午後六時と十二時と午前六時とに辨當料が五錢づゝ支給されることになつて居るので今日の如き米の高價な時節には辨當らしい辨當は決して喰ふことは出來ぬ。また警部補以上はどうして特別勤務の場合でも手當は一文も無い。僅かに一晝夜の勤務に亘る場合には二十五錢の辨當料が出るだけです。左様今回の大警戒に就ては一晩で約六百圓から七百圓の間の費用でせうと想はれます。先程も申しました通り實に好い成績を見られましたものですから今後毎月一回若くば二回づゝ突然の大警戒を行つて見たい積りで當局者が目下府の當局者に具體的の意見を示して是に賛成を交渉して居る様な譯ですが市民もどうか是位の費用は犠牲に供して貰ひたいです、私は是非毎月一回づゝでも行りたいと思ひます」云々

▲東京府の責任　柳田課長の談の如く實に警官は微々たる俸給に加ふるに僅かなる手當を以て不眠不休の勤務を爲し市民が生命財産の保護に任じつゝあればこそ夜は枕を高うして眠られる譯なり府の許さゝる故とは云へ充分なる手當を爲さゝるにも拘らず斯かる重大なる任務に盡せる警官に對して尠くとも東京市民は大に感謝せざる可からざると同時に府の當局者は巡査の待遇方法に就ては今少しく優遇の法を講ず可べき義務ある可し。

◉南京米の行衛

▲貧民は之を食せず

▲壹年間の輸入高　一概に南京米と云ふが其の種類はいろ／＼である。日本で一番多く使用されるのは蘭貢、お次ぎが西貢で其他東京、上海、シンチン、シャム等で、商賣人は更に此の六種から品の如何に依つて種々な名を附けてゐる。人口の増加するに伴ひ其の輸入高は毎年増えて來て、最近五個年の平均輸入高を見ると、實に百七十二萬二千五百九十二石で東京及び横濱へ來る分は此の全輸入高の過半分を占め、殘る二三分は神戸、其他の二三分は新潟、四日市清水等特別輸入輸出港へ輸入される。尚ほ京濱間への輸入は神戸横濱へ着き此處から汽車又は汽船に積んで來るのだが一番多く輸入される時は本月の中頃から五月中頃迄の一個月間で南京米を取引する商人は大晦日よりも多忙を極める。

▲需用の多い地方　然らば此の百七十二萬餘石の南京米は果して何れの方面に多く需要されるか、それは場所と其土地の生活程度に依つて異つてゐるが、その八九分は地方の農家を中心として用ゐられ東京、大阪、京都、名古屋の如き大都會は僅かに其の一二分に過ぎない。今地方に於ける需要の傾向を見るに最も多く用ゆる所は東北、北越、羽前羽後で、之に次ぐのは東海、山陰、山陽道並に九州地方であるが、其の譯は東北、北越、兩羽地方の如きは氣候の關係上、穀類の收穫が少なく、殊に米の收穫に至つては普通の半分程も取れぬ。故に此の地方の農民は常に勤儉貯蓄の心を忘れず收穫した僅かの米を賣つて南京米を買ひ其の殘つた幾分かを貯蓄するやうにしてゐる。同地方の不作は例へば地價(田地)一反七八十圓見當であるのに、九州地方は一反三百圓内外であるのを見ても其一般が推測られるであらう。

▲一等米を喰ふ貧民　最近五箇年間平均百七十二萬餘石輸入される、南京米を京濱間に於て其の過半分を占むる事前回記載の通りである。然るに東京市中の需要は僅かに十分の一に過ぎないとは何うい譯か自分で穀類を收穫する地方の農民の方が却つて多く之を用ゆるのは何故であらう。東京は一般に物價が高い殊に米が高い、家賃が高い、高くならぬものは其の受くる給料ばかりで、而も年と共に職を失ふ者益々多く、爲めに浮浪者は日一日と増え高等遊民はバチルスの如うに増えて行く。現代の社會、殊に東京の如き大都會は、今や生活難の聲に滿ちて此儘打過したなら果ては何んな事に成るやら……思へば恐ろしい感じがある。されば東京市民は生活上一番打撃を受ける米の如きも定めて南京米を用ゆる者が多くなつた事だらう先づ此の方面を取調べて見た處が、意外にも東京全市民の南京米需要額は僅かに一日八千石で夫れも飯にして食ふのは其の四分位に過ぎぬ。帝都の貧民窟を代表せる芝新網町の差配人曰く「此節の貧乏人は一生懸命で働いて亭主が人足ならお内儀さんも夫々日雇に使はれ子供で十歳から上となると男は職工、女は煙草專賣局其他の女工に雇はれ。一家擧つて稼さに出ますから側で思ふ程の事はありません。食物だつて安官吏から見ては氣の利いた物を食ひ南京米を食ふ者は極て少なく夫も四分六位です先達つても子供等が南京米を喰つたとか食はぬとかで喧嘩してた位ですから是等を見ても其の一般が知れませう」云々と語つた。

◉現行感化救濟法規類纂（小林止金編）
我國に於ける感化救濟事業は、近時漸く發達せんとし攻究者も亦尠くないのであるが、本書は此れに關する我國現行の諸法規を輯錄せられたるものであるから、斯業經營者並びに研究者の是非共座右に供ふべき便利至極な新著である。（定價四十錢、京橋區尾張町警醒社書店發行）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

會員の義務

一成るべく同志を糾合して會員の増加を圖ること。輿論の勢力を作るには同志の一人にても多からんを要す。

一不用の雜誌は可成知人の間に廻付して主張の徹底を計ること。

右會員諸君が、自らのデューチーとして御實行あらむことを希望す。

出版書目

歐米諸國 醜業公認制度廢止運動
定價一冊 拾五錢 郵税貳錢

右は先般本邦に來援せられたるモーリスグレゴリー氏の著書を飜譯せしものにして、安部磯雄氏の嚴密なる校閲を經たるものなり。自己の研鑽の爲め將又主張貫徹の爲め、最も有力なる武器なり。奮つて購讀あれ。

廓清叢書第一卷 公娼廢止論
伯爵 大隈重信述

廓清叢書第二卷 此羅災者を救へ
廓清會理事 益富政助述

廓清叢書第三卷 道樂者への强異見
救世軍大佐補 山室軍平

廓清叢書第四卷 自由廢業を奬勵する理由
救世軍大佐補 山室軍平述

廓清叢書第五卷 廓清會組織の趣意
廓清會長 島田三郎述

廓清叢書第六卷 公娼制度と社會の風儀
廓清會副會長 安部磯雄述

定價一冊各貳錢 郵税六冊迄貳錢

本會に所用の方は
東京神田區美土代町三丁目三番地
廓清會本部
宛に願上候

會費の納入

會費は郵便爲替、又は振替貯金東京一九五三三番益富政助に拂込まゝたし。

（注意）前項振替口座一九五三三番は益富政助氏名儀にして廓清會所有にあらず、依て御送金の節は、必ず益富政助宛に御拂込相成たし。但し裏面に「廓清會費」と明記ありたし。

大正二年六月十四日納本 一部定價金六錢
大正二年六月十五日發行 （毎月一回十五日發行）

神田區三河町一丁目十四番地
編輯兼發行人 伊藤秀吉

神田區三河町一丁目十四番地
印刷人 小林照雄

神奈川縣川崎町砂子百三番地
印刷所 丸利印刷所

發行所 廓清發行所

修容は婦德の第一歩

端正の精神は端正の容儀に宿る

常にクラブ洗粉を用ゐて氣高き素顔の美を増されよ

朝夕クラブ白粉を用ゐて床しき薄化粧を整へられよ

毎朝クラブ齒磨を用ゐて口齒を淨め精神を爽かにせられよ

斯くして信仰深き御身の品位と健康とを保ち給ふべし